# 市営中央駐車場及び市庁舎北館改修工事

## 設計図目次

	図面名	番号	図面名	番号	図面名	
. –01	性司什样妻 (动物 1 ) A1:-	田 与 A −39		:1/50	電気設備特記仕様書 1	A1:-
. –02		A -40	A3. 本党中央駐車場 R陸段販売詳細図 A1:	:1/50	電気設備特記仕様書 2	A3:-
03	A3:- 株司仕様妻 (社体 2 ) A1:-	A -41	A3. ************************************	:1/50	1階便所電灯設備図(改修前・後)	A3:- A1:1/50
-04	A3 特記什样書 (改修 4.)	A -42	A3. ************************************	:1/50	1階コンセント設備図(改修後)	A3:1/10 A1:1/50
-05	A3 株司什样書 (社核 5.)	A -43	A3.	:1/50 • 100	B1階幹線設備図(改修前・後)	A3:1/10 A1:1/1
-06		A -44		:1/100 - 200	1階誘導支援設備図(改修後)	A3:1/30 A1:1/50
-07	A3:- A1:1/30 古常中中駐車提一動地客内図・配置図	0 0 0	A3.	:1/50		A3:1/10
-08		0 0 0	A3. A1:	: 1/100 : 1/50 : 1/100 M-01		A1:-
-09	A3 · 1/20 古常中中駐車提 (4 b 車 - B2)陛立西図(改修2)	0 0 0	A3.	: 1/100 : 1/20	建築機械設備特記仕様書 2	A3:-
-10	A3.1/20 古党中央駐車提 R1陛亚南図(改修前) A1:1/10	0 0 0	A3.	: 1/40 : 1/20		A3:-
.–11	A3:1/20 古常中中駐車提 R1陛亚西図(改修2) A1:1/10	0 0 0	A3. 本党中央駐車提一部公詳細図(2)(改修前) A1:	: 1/40 : 1/20	給排水衛生設備 B2階平面図(改修前)	A3:- A1:1/10
.–12	A3.1/20 古常中中駐車提 1階立西図(改修前) A1:1/10	0	A3.	: 1/40 : 1/20 M-05	給排水衛生設備 B1階平面図(改修前)	A3:1/20 A1:1/10
-13	A3:1/20 古党中央駐車提 1階平面図(改修後) A1:1/10	0 0 0		: 1/40 : 1/50	給排水衛生設備 1階平面図(改修前)	A3:1/20 A1:1/10
-14	A3:1/20 古堂中中駐車提 2階平面図(改修前) A1:1/10	0	A3. 本党中央駐車提一部公詳細図(3)(改修後) A1:	: 1/50 M-07	給排水衛生設備 2階平面図(改修前)	A3:1/20 A1:1/10
-15	A3:1/20 古常中中駐車提 2階並南図(水格後) A1:1/10	0 0		: 1/100 : 1/20	給排水衛生設備 B2階平面図(改修後)	A3:1/20 A1:1/10
-16	A3:1/20 古党中央駐車提 3階平南図(改修前) A1:1/10	0 0 0	A3.	: 1/40 : 1/20	給排水衛生設備 B1階平面図(改修後)	A3:1/20 A1:1/10
-17	A3:1/20 古常中中駐車提 3階並南図(改修後) A1:1/10	0 0		: 1/40 : 1/300 M10	給排水衛生設備 1階平面図(改修後)	A3:1/20 A1:1/10
-18	A3:1/20 古常中中駐車提 /陛亚南図(改修前) A1:1/10	0	A3: A3: A1: A1: A1: A1: A1: A1: A1: A1: A1: A1	: 1/600 :- M_=11	給排水衛生設備 2階平面図(改修後)	A3:1/20 A1:1/10
-19	A3:1/20 古常中中駐車提 /陛亚南図(改修後) A1:1/10	0		:- :1/300 M <sub>-12</sub>	給排水衛生設備 1階平面詳細図(改修前・改修後)	A3:1/20 A1:1/50
-20	A3:1/20 古党中央駐車提 5階平南図(改修前) A1:1/10	0 0	A3.	: 1/600 : 1/100	換気設備 1階平面詳細図(改修前・改修後)	A3:1/10 A1:1/50
-21	A3:1/20 古堂中中駐車提 5階平面図(改修後) A1:1/10	0	A3. 市庁全北館 1階・2階平南図(改修各) A1:	:1/200		A3:1/10
-22	A3.1/20 古常中中駐車提 D陛亚西図(改修前) A1:1/10	0 0	A3. 市庄全北館 3階,4階,5階亚南図 A1:	: 1/200 : 1/100		
-23	A3:1/20 古堂中中駐車提 D陛亚南図(改修後) A1:1/10	0 0 0	A3: A3: A1: A1: A1: A1: A1: A1: A1: A1: A1: A1	: 1/200 : 1/100		
-24	A3:1/20 古常中中駐車提 立西図 (1) (改修前) A1:1/10	0 0 0	A3: A3: A1: A1: A1: A1: A1: A1: A1: A1: A1: A1	: 1/200 : 1/100		
. –24 . –25	A3:1/20 市営中央駐車場 立面図(1)(改修後) A2:1/20	0	A3:	: 1/200 : 1/100		
. –25 . –26	A3:1/20 市営中央駐車場 立面図(2)(改修前) A2:1/20	U	A3.	: 1/200 : 1/100		
-20 -27	A3 · 1 / 20 A1 · 1 / 10	0	Α3 · Δ1 ·	: 1/200 : 1/100		
-28	市営中央駐車場 立面図(2)(改修後) A3:1/20 A3:1/20 市営中央駐車場 立面図(3)(改修前) A2:1/20	0		: 1/200 : 1/100		
-20 -29	A3 · 1 / 20	0	A3:	: 1/200 : 1/100		
	市営中央駐車場 立面図(3)(改修後) A3:1/20 A1:1/10 A1:1/10 A3:1/20	0	A3	: 1/200 : 1/50		
-30	市営中央駐車場 立面図(4)(改修前) A3:1/20 A1:1/10 A3:1/20 A1:1/10	0	Α3.	: 1/100 : 1/50		
-31 	市営中央駐車場 立面図(4)(改修後) A3∶1/20 A1∶1/10 A1∶1/10	0	Δ1.	: 1/100 : 1/50		
-32	市営中央駐車場 断面図 A3:1/20 A3:1/20		Δ1.	: 1/100 : 1/50		
. –33	市宮中央駐車場 矩計図(I)(改修削) A3:1/10 A3:1/10	0 A-/I	而厅害北郎 部分詳細図(改修削) ————————————————————————————————————	: 1/100 : 1/50		
. –34	市宮中央駐車場 矩計図(I)(改修後) A3:1/10 A3:1/10 A3:1/10	0 A - 72	中厅害北館 部分詳細図(改修後) ————————————————————————————————————	: 1/100 : 1/100		
. –35		0 A -/3	渡り郎ト 産根(大凶、鉄育(大凶) A3:	: 1/200 : 1/100		
36		0 A - 74	渡り郎ト 立面図、断面図、詳細図 A3: A1:	: 1/200 : 1/300		
. –37	市営中央駐車場 A階段平面詳細図 A3:1/10 A1:1/50 A1:1/50 A1:1/50	0 A - / 5	加設計画図(外部) ————————————————————————————————————	: 1/600 : 1/300		

藤川設計株式会社

[1. 7. 9] ⊙道路の汚損がないように努めると共に、汚損した場合は直ちに清掃を行うこと。 13 化学物質の濃度測定 施行完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン 市営中央駐車場及び市庁舎北館改修工事 工事特記仕様書 ⊙既設構造物を汚損した場合は、受注者負担にて補修等を行うこと。 エチルベンゼン、パラジクロロベンゼン、スチレンの濃度を測定し報告すること。 ⊙工事により発生する残土や廃材、汚泥等は適切処理を行うこと。また、必要に応じて釜場を 測定は、パッシブ型採集機器により行う。 ・行う ・行わない 設け、敷地外への泥水の流出を防止すること。 工 事 概 要 四日市市 諏訪町 地内 1. 工事場所 ⊙工事期間中は、近隣住民の安全確保に努めること。 測定対象室 ⊙振動、騒音、ほこりのでる作業やその他について、事前に施設管理者及び近隣施設等と調整を 測定箇所数 外壁改修、屋上防水改修、車路改修、階段室改修、便所改修 2. 工事種目 行うこと。 ・文部科学省の定めるところによる。 ・ 1. 共通仕様 ⊙音の発生する工事は昼間の作業とし、早朝、夕方以降は作業を行わないこと。また、低騒音の 報告書の様式 濃度測定記録表の記載事項は、次のとおり (1)図面及び特記仕様に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕 2. 測定年月日 1. 工事名 3.天候 4.測定前の換気及び閉鎖時間 建設重機を使用し周辺への影響に配慮すること。 様書(令和4年版)」(以下「改修標仕」という。)による。ただし、改修標仕に記載されていない事項は、国 ○高さ5mを超える箇所での作業を有する場合の墜落制止用器具はフルハーネス型を使用すること。 5. 測定時間 6. 室名と測定時間 7. 測定器具 土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(令和4年版)(以下「標仕」という。)による。 6 発生材の処理 8. 化学物質採取方法 9. 分析装置 引渡しを要するもの( ) [1. 3. 12] ・特別管理産業廃棄物 ※無 ・有( ) 処理方法( 2. 特記仕様 (4) 完成図 ・提出する [1.9.1~3] ※提出しない ・特定建設資材の搬出 (1)項目は、○印の付いたものを適用する。 種類 ※改修標仕 表1.8.1による 再資源化等を行う(再資源化が困難な場合には縮減) (2)特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。 • 各階平面図 ・配置図及び案内図 ・特定建設資材以外の搬出 ・構外搬出適正処理 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ※廃棄物管理票(マニフェスト)確認表を作成し、監督職員にA票及びD票もしくはE票 • 断面図 ・各立面図 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 ・施工図 ・仕上表 の確認を受けるものとする。ただし、電子情報処理組織に登録(電子マニフェスト)に (3)特記事項に記載の[ . . ] 内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 • 施工計画書 より確認を行う場合は、この限りではない。 (4)特記事項に記載の(標 . . ) 内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 ※建設発生土を搬出する場合は、事前に書面にて処分地の報告(位置図等)を行い、処分地 ※提出する・提出しない ※CADデータの提出 部分完成 ○無 ・有( での処理状況が分かる写真を提出すること。また、処分地が民有地の場合、土地所有者 ・保全に関する資料 部 分 引 渡 し ○無 · 有( からの建設発生土受入承諾書の写しを提出すること。 ・製本図面 提出部数 ※1部 • 2部 7)交通安全管理 (15) 記 録 交通誘導員 ※配置する1名以上(2~5階車路の平日作業時は必ず) ・配置しない [1.3.9] 工事記録については以下による。(A4版) 1)保険及び保証 ○建設工事保険 (保険証の写しを提出) ※工事着手前写真 1 部 ·交通誘導警備員A ※交通誘導警備員B ○請負業者賠償責任保険 (保険証の写しを提出) (8)建築材料等 ※本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又は同等のものとする。 ※工程写真 各工程毎 1 部 ( ○管理財物担保特約に加入のこと) ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 ※内部、外部 2 部 ※竣工写真 ○任意にて加入 [1.4.5] ・品質及び性能を試験により証明を求める材料は以下の物とする。 ※工事の各記録写真については、デジタル画像にて整備編集を行うよう努めること。 2) 建設共済等 下記の制度について加入すること。 ⊙法定外労災補償制度 (加入証明書の写しを提出) ※工事日報・納品伝票等の写しは、監督職員が提出を求めた場合は提出すること。 (9)化学物質を発散する │(16)設備工事との取合い│施工範囲 ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するも ○建設業退職金共済制度 当初の請負金額が500万円以上の場合は、掛金収納書を提出する 建築材料等 のとし、次の 1) から 5) を満たすものとする。 ※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 こと。また、増額の契約変更があった場合についても、その分を (7)設計GL ※図示のベンチマーク (B.M) 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、パーティクル mm (現状地盤はB.M 提出すること。 共済証紙購入額 請負金額の 1/1000以上 (8) 完成引渡し後の点検 かし期間は、別に定めた特約(責任施工による保証期間など)を除き、四日市市工事請負契約 ボード、MDF、その他木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗料は、ホルムアル なお、他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は、理由書の 書に準拠する。 デヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 提出をもって共済証紙の購入を不要とする 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散 ・工事完成引渡し後、必要に応じて一年又は二年を超えない範囲の適当な時期に、双方 ○任意にて加入 ※資材の購入及び下請け業者の選定に際しての留意事項 が極めて少ないものとする。 立ち会いで工事目的物のかし点検を実施する。 (19) 随時検査 資材の購入及び工事の一部を下請け業者にて施工する場合、業者の選定に際しては、 3) 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しな 予定価格(税込)3000万円以上の工事は、四日市市検査規程第8条第6項の規定により、 出来る限り市内業者を優先させること。 い難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン 発注者が随時検査を求めた場合、監督職員の指示に従い受検すること キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 (20) 施工体制台帳の提出 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の定めにより、施工体制台帳の写しを 項 記 4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、 提出すること。なお、警備事業者についても記載すべき下請負の範囲に含むものとする。 (1)適用基準等 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成 28 年版) 発散が極めて少ないものとする。 21) 資源有効利用促進 ※本工事が資源の有効な利用の促進に関する法律(平成三年法律第四十八号)の規定により再生 ※工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 5) 1)及び 4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等 資源利用促進計画の作成を要する工事である場合(下記内容該当工事)は、受注者は、工事の (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成 30 年版) は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の (2) 工事実績情報の登録 | ※請負金額が 500万円以上の場合は、登録を行う。 [1. 1. 4] また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。 完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。 ③品質計画 ※建築基準法に基づき定められる区分等の適用工事 規制対象外 ・建設副産物を搬出する際の計画 ※風速 (Vo)=34 m毎秒 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 1. 土砂500m3以上 地表面粗度 ※皿(Zb=5 Zg=450 α=0.20) • Π(Zb=5 Zg=350 α=0.15) ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 2. コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材の合計が200t以上 **※**30 cm ⋅ 40 cm 積雪区分 ③下記表示のあるJAS規格品 ・再生資材を利用する際の計画 4 電気保安技術者 適用する。 [1.3.3] a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 3. 加熱アスファルト200t以上 ・適用しない。 1. 土砂500m3以上 事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気 b. 接着剤等不使用 2. 砕石500t以上 ( 足場その他 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 内部足場 種別 ※きゃたつ、足場板等 主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする。 [2. 2. 1] [2. 2. 1] 一般電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第一種又は第二種電気工事士の資格を d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 外部足場 種別 ※くさび緊結式(手すり先行工法)・ 章 有する者とする。 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 防護シートによる養生 ・行わない ⊙行う (JIS A 8952-1995 1類) 6-) 週休2日制工事 [2.1.3] 「四日市市週休2日制工事実施要領(営繕工事)」に基づく適用は下記による。 騒音・粉じん等の対策 ・行わない ⊙行う(防音シート ※A-55参照) f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 第三種 材料、撤去材等の運搬 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 [2. 2. 1][表2. 2. 1] · 週休2日制工事対象 2 養生その他 [2. 3. 1] 既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等・ ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ・週休2日制工事(受注者希望型)対象 ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品 固定家具等の移動 ※行わない ・行う(図示) ○週休2日制対象外工事(・工事の実働日数が30日未満の工事 ○現場閉所困難な工事) 事 | 3 仮設間仕切り ③旧JISのEo規格品 (a)設置箇所 ※図示・ [2.3.2][表2.3.1] 6-2 施工条件 [1.3.5] ④旧JASのFco規格品 充てん材 塗 装 種別 仕上材 (厚さ mm) 下 地 (1) 特別な材料の工法 ⊙工事用車両の駐車場及び資機材置場 ※敷地内 改修標仕、標仕に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。 ※軽量鉄骨 · 合板 (※9.0 · ) ※無し • A 種 ⊙工事着手前に周辺住民への工事説明会が開催される場合は資料作成等に協力すること。 ・木下地 **※せっこうボード(※9.5** ・ )厚さ mm ・片面 B種 [1.5.1] ⊙施工作業時間は原則8:30~17:00とすること。清掃片付け等は18:00までとすること。 |(1) 石綿含有建材の調査| 事前調査(有資格者) ※行う ・行わない 単管下地 防炎シート · C種 ⊙施工に際しては、工程及び施工内容について施設管理者と綿密な調整を行うこと。 調査結果報告書等の貸与 ⊙有 仮設扉 ※木製扉 ・合板張り程度 ※無し ⊙工事に関わる法令手続きは受注者にて行うこと。手続きに係る手数料は受注者の負担 分析調査・行う(対象箇所: ) ※行わない ・片面フラシュ程度 有り • 鋼製扉 設ける 規模等は以下による ・既存施設の一部を使用する ※設けない (道路占用許可申請における占用料は除く)とする。 4 監督職員事務所 [2.4.1] ※定性分析 · 定量分析 ⊙仮囲い等について周辺住民等の安全上、使用上支障がないように計画し、維持管理に努めること。 ※分析調査は「建材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。 (・規模 ㎡程度 ・仕上げ;床 、壁 程度) 、天井 6 工事用水 構内既存の施設 ※利用できる (・)有償 ※無償) ・利用できない ⊙1階~5階の車路及び駐車場の床改修工事は原則土、日、祝日に施工し平日は使用できるもの ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 構内既存の施設 ※利用できる (・)有償 ※無償) ・利用できない とし、日曜(最終日が祝日の場合は祝日)の作業後は、都度清掃及び仮設工事を行うこと。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。 6 工事用電力 ⊙市営中央駐車場の外壁水洗い、渡り廊下の折板屋根塗装改修は、原則平日以外の施工とする。 [1. 7. 2] (1) 技能士 ※適用する・適用しない ○その他工事は月~金とする。土、日、祝日に作業を行う場合は監督職員の承諾を得ること。 ・型枠施工 ・鉄筋施工 ・鉄工・塗装・左官 ⊙市庁舎北館の室外機基礎部の防水改修は中間期に行うこと。 ⊗防水施工 ・建築大工 ・サッシ施工 ・内装仕上げ施工 ○同一敷地内で行う別途工事について、協議に応じること。(12/28~1/5は「市営中央駐車場 工事名 ※産業廃棄物税 消防設備ほか更新工事」にて駐車場地階を改修するため、搬出入動線等協力すること。) 四日市市都市整備部営繕工務課 市営中央駐車場及び市庁舎北館改修工事 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、 ⊙A階段、B階段はいずれかが使用できるよう工区分けすること。 請負者が本工事により生じた産業廃棄物が、課税対象とな ⊙工程計画については、関係者等と十分に調整を行った上で進めること。 日付 図面名 縮尺 図面番号 った場合には、翌年度に産業廃棄物税納税証明書等を添付 ⊙資機材の搬出入は第三者の安全に留意して、災害及び事故の防止に努めること。 一級建築士 登録 第 A - 01して、本工事により生じた産業廃棄物税相当分を請求する 特記仕様書(改修1) 年 \_\_\_ ⊙大型車両通行時には、誘導員等を配置し、安全確保に努めること。 ことができる。 四日市市諏訪町1番5号 令和6年版 ○高さ10mを超える足場を60日以上設置する場合は、着手の30日前までに、設置届を所管官庁へ提出すること。

① 既存下地の補修及び	※図示による [3.2.6]	② 改修工法の種類	[4. 1. 4~5]	(7)仕上塗材仕上げ	   種類、仕上げの形状、工法	
2 処置	既存露出防水層表面の仕上塗装の除去 ・する ・しない	\ 	外壁の種類 種 類 改 修 工 法		種類呼び名 仕上の形状	
「2 アスファルト防水	[3.3.2~3][表3.1.1][表3.3.3~10]		<ul><li>・コンクリート</li><li>・ひび割れ部</li><li>・樹脂注入工法・Uカットシール材充填工法・シール工法</li></ul>		・薄付け仕上塗材 ・外装薄塗材E ・砂壁状 ・着色骨材砂壁状	
	防水改修工法の種類 施工 箇 所 新規防水層の種別		打放し仕上げ・欠損部・充填工法・・		・可とう形外装薄塗材E ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・	
		<u>'</u>	<ul><li>●モルタル塗り ・ひび割れ部 ・樹脂注入工法・Uカットシール材充填工法・シール工法</li></ul>		・防水形外装薄塗材E・ゆず肌状・凹凸状	
	アスファルトの種類 ※3種 · 押え金物 ※アルミニウム製(L-30x15x2.0程度)	<u>'</u>	仕上げ ・ 大損部 ・ モルタル塗替工法		・複層仕上塗材・複層塗材CE ・ゆず肌状・凸部処理・凹凸状	
	脱気装置・製造所の指定する製品・ステンレス製設置数量()箇所	'	○浮き部・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法		・可とう形複層塗材CE 上塗材 水系アクリル	
	改修用ドレン ※設ける ( 箇所) ※銅製 ・鉛製 ・設けない [3.2.5]	'	○充填工法		・複層塗材E・水系アクリルシリコン	
	屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材		<ul><li>●タイル張り仕</li><li>●ひび割れ部</li><li>・樹脂注入工法</li><li>・Uカットシール材充填工法</li></ul>		・複層塗材RE 外観 ※つやあり ・つやなし	
	材質 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキン層付き)	'	<ul><li>上げ</li><li>・タイル張うは ○ 00 的 10 は 個 1</li></ul>		・防水形複層塗材CE・メタリック	
	厚さ (mm) ※35	'	・		・防水形複層塗材E 防水形の増塗材・行う	
	屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材	'				
		'			●可とう形改修用 ※可とう形改修塗材E ・平たん状 ・さざ波状 ※ゆず肌 は、 またき形改修塗材 D C ・ を対し、 すんき形な修塗材 D C ・ を対し、 するしない	
	・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号	'	<ul><li>・薄付け仕上塗材塗り</li><li>・薄付け仕上塗材塗り</li><li>・薄付け仕上塗材塗り</li><li>・薄付け仕上塗材塗り</li><li>・ 本は冷り</li><li>・ なば冷り</li></ul>		仕上塗材 ・可とう形改修塗材RE 上塗材 ・アクリル ・ウレタン	
	厚さ (mm) ※35	'	・厚付け仕上塗材塗り・各種塗料塗り		※シリコン ・ふっ素	
	乾式保護材 製造所の仕様による・	'	・複層仕上塗材塗り・マスチック塗材塗り			
					仕上 ※薄付け ・厚付け	
	防水保護のれんがの種類 ※市販品のレンガ又は市販品のレンガ形コンクリートブロック	(3)ひび割れ部改修工法	<ul><li>●樹脂注入工法 (・モルタル面 ●躯体コンクリート面 ) [4.1.4][4.2.5]</li></ul>			
	保護コンクリート仕上り平たんさ種別 ・a種 ・b種 ・c種 [3.3.5][8.1.4][表8.1.5]	'	注入工法の種類   ひび割れ幅(mm)   注入口間隔(mm)   注入量(cc/m)   備 考	8 設計数量		
	仕上塗装 (P2A, M3D, P0D, P0DI, M3DI, M4DI, 工法) ※種類および使用量は製造所の仕様による	<u>'</u>	※自動式低圧エポキシ 0.2以上~1.0未満 ※200~300 ※		外壁部位     種類     工法     数量     備考	
	施工標識 ※設ける・設けない	'	樹脂注入工法		○コンクリート打放し面 ○ひび割れ ※Uカットシール材充填工法	
		<u>'</u>	・手動式エポキシ樹脂 0.2以上~0.3未満 ※50~100 ※40・		● 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法   142 m	
3 改質アスファルト	[表3.1.1][3.4.2~3][表3.4.1~3]		注入工法 0.3以上~0.5未満 ※100~200 ※70 ・		・欠損部       ※エポキシ樹脂モルタル充填工法	
シート防水	防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別(厚さmm) 仕上げ塗料等	'	・機械式エポキシ樹脂 0.5以上~1.0未満 ※150~250 ※130・		<ul><li>●モルタル塗り仕上げ面</li><li>●ひび割れ ※Uカットシール材充填工法</li><li>m</li></ul>	
			注入工法 · · ·		● タイル張り仕上げ面 ● 自動式低圧球 お樹脂注入工法 12 m	
		1	注入材料 [4.2.4]		・タイル部分張替え工法(欠損部共) m <sup>*</sup>	
	仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<u>'</u>	※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)		<ul><li>●欠損部 ※充填工法</li><li>28箇所 100×100×30章</li></ul>	
	脱気装置 ・製造所の指定する製品 ・ステンレス製 設置数量( )箇所	1	検査(コア抜取り)・行わない		・タイル部分張替え工法 ㎡	
	屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材・製造所の指定する製品	1	※行う(抜取り部の補修方法:		○浮き部 ※アンカーピンニング部分エポキシ	
	※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材	<u>'</u>	・ U カットシール材充填工法 [4. 1. 4] [4. 2. 4] [4. 2. 6]		樹脂注入工法 18.6 m²	
	・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号	<u>'</u>	充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材		※上記数量については、現場調査を行い報告書を作成し、提出する。	
	施工標識 ※設ける・設けない	<u>'</u>	・可とう性エポキシ樹脂		尚、数量の10%を越える増減が生じた場合は協議の上、契約変更を行う事ができる。	
4 合成高分子系	[表3.1.1][3.5.2~3][表3.5.1~2]		ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・行わない			
ルーフィングシート	防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別(厚さmm) 仕上げ塗料等	<u>'</u>	・シール工法 [4.1.4][4.2.4][4.2.7]	1 改修工法	・かぶせ工法 ・撤去工法(・引き抜き工法 ・はつり工法) [5.1.3	
防水		'	シール材料 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂	5		
	仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 欠損部改修工法	※充填工法 [4.1.4][4.2.4][4.2.8]	章 │ <sub>2 見本の製作等</sub>	・建具見本の製作・特殊な建具の仮組 [5.1.5	
	絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート ・ [3.5.2]		充填材料 ・ポリマーセメントモルタル (・モルタル面 ・コンクリート面 ・CB面 )	Z <del>.b</del>		
	可塑剤移行防止用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート ・ [3.5.2]	<u>'</u>	<ul><li>●エポキシ樹脂モルタル (</li></ul>	姓     目   3 アルミニウム製建具	   外部に面する建具(フロントサッシは除く)	
	脱気装置・製造所の指定する製品・ステンレス製設置数量()箇所	<u>'</u>	・モルタル塗替え工法 (改修標仕4.3.5(5)による)	· 六   改	種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み(mm) 施工箇所	
	機械固定工法に用いる断熱材 ※次のいずれかによる ・	(5)浮き部改修工法	[4.1.4][4.3.10~16][表4.4.3~4]	· 《 修	· A 種 S — 4 ※ 70 ※図示	
	※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材		改修工法の種類 アンカーピンの本数(本/m²) 注入口の箇所数(箇所/m²) 充てん量	エ	- B種     S-5         A-3     W-4       *100	
	・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号	<u>'</u>	(モルタルを撤去しない場合) 一般部 指定部 一般部 指定部 注入量	事	- C種 S-6 A-4 W-5 - 70 - 100 -	
	・押出法ポリスチレンフォーム断熱材の1種b、2種b又は3種b	<u>'</u>	<ul><li>⊙アンカーピンニング部分</li><li>※ 16</li><li>※ 25</li><li>※ 25ml</li></ul>		表面処理 ※BB-1種 ・BB-2種(※ブロンズ系 ・ブラック ・ステンカラー) [5. 2. 4] [表5. 2. 2	
	接着工法に用いる断熱材	'	エポキシ樹脂注入工法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		内部建具 [5. 2. 4] [表5. 2. 2	
	※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材	<u>'</u>	・アンカーピンニング全面 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※25ml		表面処理 ※AC-1又はBB-1種 ・AC-2又はBB-2種(※ブロンズ系 ・ブラック ・ステンカラー)	
	・ポリエチレンフォーム断熱材	<u>'</u>	エポキシ樹脂注入工法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
	改修用ドレン ※設ける ( 箇所)・設けない	<u>'</u>	・アンカーピンニング全面 ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ・25ml	4 網戸	防虫網 [5.2.3	
	※製造所の指定する製品・銅製・鉛製	'	ポ゚リマーセメントスラリー注入工法 ・ ・ ・ ・ ※50ml		- 網の種別 ※ステンレス(SUS316)製 ・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製	
	施工標識 ※設ける ・設けない	'	<td ***<="" blue;"="" color:="" rowspan="2" style="block" td=""  =""><td></td><td>形 式 ※可動式 ・固定式</td></td>	<td></td> <td>形 式 ※可動式 ・固定式</td>		形 式 ※可動式 ・固定式
(5) 塗膜防水	[表3.1.1][3.6.2~3][表3.6.1]	'	エポキシ樹脂注入工法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
		'	エホヤン倒加圧パエ法         ・注入口付アンカーピンニング全面 ※ 9       ※ 16       ※ 9       ※ 16       ※ 25ml			
	駐車場バルコニー V 1 V 0 有(遮熱トップコート)	1	・注入口付アフカーピラーフグ宝面 ※ 9 ※ 10 ※ 9 ※ 10 ※25㎜ ※25㎜ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	5 樹脂製建具	外部に面する建具 (プロントサッシは製造所の仕様による)       [5.3.2][表5.3.1         種 別       耐風圧性       気密性       水密性       枠見込み(mm)       施工箇所	
	<u> </u>	1				
	仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による ・	1				
	成存塗膜防水増表面の仕上塗料の除去(L4A工法) ・除去する [3.2.6] 脱気装置 ・設けない ①設ける		**リマーセメントスラリー注入工法 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
	施工標識 ※設ける・設けない	1	※狭幅部におけるアンカーピン本数は、幅中央に5本/mとする アンカーピン [4.2.4]		- C種 S-6 ・ T-R種 ・ T-R	
6 保証期間		Ì			・防音ドアセット及び防音サッシの適用 種別 ・T-A種 ・T-B種 [5.3.2][表5.3.2	
	防水の保証期間は原則、表面仕上材塗替なしで10年とする。ただし、既存の劣化等の状況により		材質 ※ステンレス SUS304、呼び径 4 mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの・		・断熱ドアセット及び断熱サッシの適用 種別 ・H−A種 ・H−B種 ・H−C種 [5.3.2][表5.3.3 │	
7 2 11 2 28	保証ができない場合は、保証できない理由を明確にし、監督職員と協議を行うこと。	Ì	注入口付アンカーピン [4. 2. 4]	C A대 4대 7초 모	   節目与感刑ドマー・体田ナチーツ体田したい。  「5・4・2	
(7)シーリング	<ul><li>・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 [3.1.4][表3.1.2]</li></ul>	1	材質 ※ステンレス SUS304、呼び径外径 6 mm	6 鋼製建具	簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない [5.4.2]	
	・拡幅シーリング再充填工法・ブリッジ工法			(7)鋼製軽量建具	品質規格 ※改修標仕表5.5.1による [5.5.2][5.5.4	
	シーリング材の種類、施工箇所 [3.7.2] [表3.7.1]		既存塗膜劣化部の除去及び下地処理の工法 [4.5.4][表4.5.4~7]		・製造所標準仕様による	
	※下表以外は、改修標仕表 3.7.1を標準とする	び下地処理	工法     処理範囲     下地面の補修	0	簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない	
	<u>施工箇所</u> シーリング材の種類(記号)	1	・サンダー工法       ※既存仕上面全体       ・         ・サンダー工法       ○ひび割れ部改修工法	│8ステンレス製建具	表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ [5. 6. 2] [5. 6. 4	
	図示	)	・高圧水洗工法 ※既存仕上面全体・ ②浮き部改修工法		曲げ加工・角出し曲げ・角出し曲げ	
		1	・塗膜はく離剤工法 ※既存仕上面全体・		簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない	
	シーリングの試験 ※行わない・行う(※簡易接着性試験・引張接着性試験)		○水洗い工法 ※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	9 木製建具	材料の含水率 [5.7.2]表[5.7.1	
8)とい	材質 ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ⊙硬質ポリ塩化カラービニル管(VP) [3.8.2(1)]	1	下地調整材 [4.2.4][4.6.3]		種別加工及び組み立て時の含水率	
	とい受け金物 ※SUS製 ・亜鉛メッキ製		※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル ・防水形仕上げ塗材主材を使用		※A種 15%以下	
					- B種 18%以下	
	ルーフドレン ※JCW301(日本鋳鉄ふた・排水器具工業会規格) ・図示による [3.8.2(1)]					
9 アルミニウム製笠木	表面処理 · AB-1種 ※BB-1種 [3.9.2]			工事名		
9 アルミニウム製笠木 1 施工数量調査				<u> </u>		
	表面処理 · AB-1種 ※BB-1種 [3.9.2]		四日市市都市整備部党	<b>4</b> ★ <b>- - - - - - - - - -</b>	ー	
	表面処理 ・AB-1種 ※BB-1種 [3.9.2] — 調査範囲 ・既存モルタル面 ・躯体コンクリート面 ・既存タイル面 [1.5.2] 調査内容 ひび割れ(0.2mm以上)の長さを表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。		四日市市都市整備部営	<b>4</b> ★ <b>- - - - - - - - - -</b>	中央駐車場及び市庁舎北館改修工事	
	表面処理 ・AB-1種 ※BB-1種 [3.9.2] 調査範囲 ・ の既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 既存タイル面 [1.5.2] 調査内容 ひび割れ (0.2mm以上) の長さを表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、 漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタルの浮き部分を表示する。また、モルタルの欠損部の形状寸法等を調査する。		四日市市都市整備部営	<b>4</b> ★ <b>- - - - - - - - - -</b>	中央駐車場及び市庁舎北館改修工事 図面名 縮尺 図面番号	
	表面処理 ・AB-1種 ※BB-1種 [3.9.2] 調査範囲 ・ の既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 既存タイル面 [1.5.2] 調査内容 ひび割れ (0.2mm以上) の長さを表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、 漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタルの浮き部分を表示する。また、モルタルの欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。		四日市市都市整備部営	籍工務課 市営 <sup>日付</sup>	図面名 縮尺 図面番 <sup>-</sup> A-02	
	表面処理 ・AB-1種 ※BB-1種 [3.9.2] 調査範囲 ・ の既存モルタル面 ・ 躯体コンクリート面 ・ 既存タイル面 [1.5.2] 調査内容 ひび割れ (0.2mm以上) の長さを表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、 漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタルの浮き部分を表示する。また、モルタルの欠損部の形状寸法等を調査する。			着工務課 市営「 日付	図面名 縮尺 図面番	

10 建具用金物	マスターキー ・製作する <b>○製作しない(既存マスターキーに合わせる)</b> [5.8.4]	6 接着剤	※木工事に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 [6.5.3]	17 フローリング張り		[6.11.2~7][表6.11.1~4]
3     音	モノロック ゴール( ) 美和ロック( )		※壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤の [6.8.2][6.14.2]		種   別	樹 種
<del>*</del>	シリンダー箱錠   ゴール(  )  美和ロック(  )		ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種		※天然木化粧複合フローリング	※なら   ※釘止め工法   ※塗装品
建	シリンダー本締り錠  ゴール( ) 美和ロック( )				・単層フローリング	ー ひのき   (・A種・B種・C種)
具	ドアクローザー ダイハツディーゼル機器(大島機工、ニッカナ)	7 床板張り	フローリング及び縁甲板張り床 [表6.5.10]			・接着剤併用釘留め・無塗装品
改	日本ドアチェック製造、美和ロック、リョービ		下張り用床板   ※無し		- モザイクパーケット張り	
	フロアヒンジ 大島機工(ニッカナ、美和ロック)、日本ドアチェック製造、リョービ		・有り ※合板張り ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外・			
<del> </del>	ヒンジクローザー 大島機工(ニッカナ、美和ロック)、日本ドアチェック製造		※単層フローリング(標仕19.5.2による)		ホルムアルデヒドの放散量 ※	<ul><li>(規制対象外・第三種</li></ul>
7	リョービ、デンセイオートテック		床 板 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種	10 思 # 4 +		W D IF (W = W) [0.40.0][+0.40.4]
	押板、取手      樹建工業、ユニオン		- 縁甲板   ※ひのき   10mm   10mm	18 畳敷き	│種別 ・A種 ・B種 ・C種	※ D種 (KT-Ⅲ) [6.12.2][表6.12.1]
11 白新じつ問題壮業		8 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 屋内(※19形 ・25形) 屋外(※25形 ・19形) [6.6.2][表6.6.1]	19 せっこうボード		
11 自動ドア開閉装置	センサーの種類・光線センサー・熱線センサー・		既存の埋込みインサート ・使用する ⊙使用しない [6.6.4]	その他ボード張り	17 WT	[6.13.2][表6.13.1]
			あと施工アンカーの引抜き試験 ④行う・行わない	ての個外一下張り	性 類   では、ハントだ	JISの記号     厚さ (mm)、規格等       HW     ・15     ・20     ・25     ・
(12) 自閉式上吊り	品質規格 ※改修標仕5.10.3による [5.10.3][表5.10.1]		耐震補強・行う(図示) 屋外軒天井及びピロティ天井補強 ※図示		・        ・            ・	HW     - 15     - 20     - 25     -       NW     - 15     - 20     - 25     -
引戸装置	- 製造所標準仕様による	9 軽量鉄骨壁下地	スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示		<u> □ 日週ペモピタント級</u>	0.8FK 無石綿 ※6 ・8 ・
カバ 表世	表定///	<b>拉里</b>	スプラドの向でが可じたも物は、木色小		・ロックウール化粧吸音板	DR ※フラットタイフ゜(※9(不燃) ・12 ・ )
13 重量シャッター	種類・管理用シャッター・外壁用防火シャッター [5.11.2][表5.11.1]	① ビニル床シート	工法 ※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所 ) [6.8.2~3]			・凹凸タイプ(※12(不燃) ・15 ・19 ・ )
	・屋内用防火シャッター・屋内用防煙シャッター		種類     JISの記号     色柄     厚さ(mm)     備考		・せっこうボード	GB-R ※12.5(不燃) • 9.5(準不燃)
	   開閉機能 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.11.2]		※発泡層のないもの   ※FS   ・無地 ※マーブル柄   ・2.5 ※2.0		・不燃積層せっこうボード	GB-NC 9.5(不燃) 化粧無 (下地張り用)
	スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3]		・発泡層のあるもの     ※柄物 ・無地		, , , ,	化粧有(トラバーチン模様)
	形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.2]		•		│ ・強化せっこ <b>う</b> ボード	GB-F · 12.5(不燃) · 15.0(不燃)
	シャッターケース(防火・防煙以外のもの)・設ける・設けない		接着材 ※改修標仕表6.8.1による ・エポキシ樹脂系		<ul><li>⊙シージング石こうボード</li></ul>	GB-S
	危害防止機構 • 障害物感知装置(自動閉鎖型)	① ビニル床タイル	[6. 8. 2]		⊙化粧せっこうボード	GB-D • 12.5(不燃) ⊙ 9.5 (準不燃)
	・「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に適合するもの		種類 JISの記号 厚さ(mm) 備 考			
	耐風圧性能 ( ) N/m (一般重量・外壁用防火のもの)		※単層ビニル床タイル   TT   ※2.0		・せっこうラスボード	GB-L • 9. 5
			・複層ビニル床タイル FT ・		・メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による 厚さ1.2
14 軽量シャッター	開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.12.2][表5.12.1]		・コンポジションビニル床タイル KT ・		・パーティクルボード	
	スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 • [5.12.3]		接着材 ※改修標仕表6.8.1による ・エポキシ樹脂系		⊙化粧けい酸カルシウム板	0. 8FK <u>*</u> 6
	形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.12.4]	12 帯電防止ビニル	[6. 8. 2]			
	耐風圧性能( ) N/m <sup>2</sup>	床タイル	種類   厚さ(mm)     性能			
15 その他のシャッタ	・オーバーヘッドドア		※単層ビニル床タイル ※2.0 体積抵抗値 1.0x10 <sup>9</sup> Ω以下又は			- ドのホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種
(a) 15 = -	・リンググリルシャッター		- 複層ビニル床タイル - 漏えい抵抗値 1.0x10 <sup>10</sup> Ω以下		軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シ 	ノール材 ※適用する ・適用しない
(16) ガラス	種類・厚さ ※ 建具表による [5.14.2] またい (5.14.2)		・コンポジションビニル床タイル 			
(17) ガラスの留め材	種別(区分は図示による) [5.14.2] ※ *** *** *** *** *** *** *** *** ***	10 = X X T T T 18		② せっこうボードの	目地処理の種類等	[6.13.3][表6.13.5]
10 #= 7 # 7 / 11 /	※シーリング材(SR-1, シリコーン系、9030G) ・ガスケット	13 誘導用及び	視覚障害者用床タイル [6.8.2]	目地処理	・継目処理工法 施工場所	
18 ガラス用フィルム	<ul><li></li></ul>	注意喚起用床材	種類寸法(mm)施工箇所・塩化ビニル製※300×300		<ul><li>○突付け工法 施工場所</li><li>○目透し工法 施工場所</li></ul>	
	性能値 ※層間変位試験に適合するもの(B法)		- レジンコンクリート製 ·		○日近し工法   池工場所	
(1)改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁,床の改修範囲 [6.1.3]		- <u>し                                   </u>	   21 壁紙張り		[6. 14. 3]
6	※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う・図示による範囲			21 至 成 及 グ	施工箇所 壁紙	の種類 防火性能 備 考
草	天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲	(14) ビニル幅木	高さ (mm) ※60 ⊙75 · 100		<u>                                    </u>	・
内	※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による範囲	O	・織じゅうたん [6.9.2~3][表6.9.1~2]			- 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃
改	天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修範囲		種 別 パイル形状 色柄 等 備 考			
修	※既存のまま ・図示による範囲		・A種 ・カットパイル ※無地		石こうボード及びその他ボード面の	)下地調整 ・RA種 ※RB種 ・RC種 [表7.3.7]
工			• B種 ・ループパイル ・柄物 (標準品)		ホルムアルデヒドの放散量 ※規	見制対象外 ・第三種
	に ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) [6.2.2]		- C種 ・カット、ループパイル併用 ・			
下地補修	○下地モルタルとも(※図示の範囲・除去範囲全て)		耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ·	②② セラミックタイル張 り	タイルの種類	[6. 16. 3]
	改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ⊙図示		・タフテッドカーペット   [6. 9. 2~3] [表 6. 9. 2]		施工箇所 形状寸法 用途によ	る区分 耐凍害性 色調 うわぐすり 役物
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	合成樹脂塗り床の除去   ○機械的除去工法 ・目荒工法   □   □   □   □   □   □   □   □   □		パイル形状     パイル長 (mm)     工 法     帯電性		(mm)	
3 既存壁の撤去	間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修 [4.3.10][6.3.2]		・カットパイル       ※5~7       ※全面接着工法       人体帯電圧		汚垂タイル 図示 ・屋外	
並びに下地補修	※図示 ・モルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の補強 ・行う ・行わない)		・ループパイル       ※4~6       ・グリッパー工法       ※3kv以下		磁器質タイル 図示 ・屋内	○床 ※ · ※ · · · ·
4 木下地等	表面仕上げ 仕上げの程度 ・プレーナー仕上げ ※サンダー仕上げ ・超かんな仕上げ [6.5.1] 加工の種類 ※機械加工 ・手加工		・カット、ループパイル併用・		- <u>- 屋外</u> - 屋内	<u>③</u> 壁
	加工の種類 ※機械加工 ・手加工 ・かんな加工 ・プレーナー加工 ※サンダー加工 ・かんな加工		耐電性 ※人体帯電圧3kV以下・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		·屋外	·壁 ※ · ※ · · · ·
	・ プレーデー加工 ※ ザンダ ー加工 ・ かんな加工		・タイルカーペット       [0.9.2~3][表0.9.2]         パイル形状       種類       寸法(mm)       総厚さ(mm)       施工箇所		・屋内	·床 ·辟 ※ · ※ · · · ·
	木材の品質   ※改修標仕6.5.2による ・市販品   [6.5.2][表6.5.4]		ハイル形状     種類     引送(IIIIII)     総厚さ(IIIIII)     施工固所       ・ループパイル     ※第一種     ※500×500     ※6.5		屋外	- 笙
	樹種 構造材 ※杉 ・松 ・ひのき		- 第二種   - ※500 × 500   ※6.5		  タイルの見本焼き ※行わない	・行う(※外装タイル・ )
	造作材 ※杉 ・松 ・ひのき		・カットパイル		内装タイル ・改良積上げ張り	[6. 16. 3][表6. 16. 4]
	防腐防蟻処理 ※行わない・行う(箇所一 )		・カット、ループ併用		※壁タイル接着剤強	
			- 下敷き材 種類 ※第二種二号 厚さ 8.0mm			
	木材保存(木材の防腐・防蟻処理)剤は、監督職員の承諾するものとする。		[6.10.3][表6.10.4~8]	23 セルフレベリング	│ │ セルフレベリング材の種類 ・せっ	っこう系 ※セメント系 [6.17.2][表6.17.1]
		16 合成樹脂塗床	[0.10.5][报0.10.4-5]			
	木材保存(木材の防腐・防蟻処理)剤は、監督職員の承諾するものとする。	16 合成樹脂塗床	・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ		※厚み	
5 集成材等	木材保存(木材の防腐・防蟻処理)剤は、監督職員の承諾するものとする。	16 合成樹脂塗床				
5 集成材等	木材保存(木材の防腐・防蟻処理)剤は、監督職員の承諾するものとする。 ※9.0mm未満の合板上張り留め付けはタッカー留めとする。	16 合成樹脂塗床	・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ			
5 集成材等	木材保存(木材の防腐・防蟻処理)剤は、監督職員の承諾するものとする。 ※9.0mm未満の合板上張り留め付けはタッカー留めとする。 集成材又は単板積層材の材質 [6.5.2]	16 合成樹脂塗床	・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流しのべ仕上げ(※平滑 ・防滑)			
5 集成材等	木材保存(木材の防腐・防蟻処理)剤は、監督職員の承諾するものとする。 ※9.0mm未満の合板上張り留め付けはタッカー留めとする。  集成材又は単板積層材の材質	16 合成樹脂塗床	・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流しのべ仕上げ(※平滑 ・防滑) ・厚膜流しのべ仕上げ(※平滑 ・防滑)			
5 集成材等	************************************	16 合成樹脂塗床	<ul> <li>・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ</li> <li>・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流しのべ仕上げ(※平滑 ・防滑)</li> <li>・厚膜流しのべ仕上げ(※平滑 ・防滑)</li> <li>・樹脂モルタル仕上げ(※平滑 ・防滑)</li> </ul>			
5 集成材等	************************************	16 合成樹脂塗床	<ul> <li>・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ</li> <li>・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流しのべ仕上げ(※平滑 ・防滑)</li> <li>・厚膜流しのべ仕上げ(※平滑 ・防滑)</li> <li>・樹脂モルタル仕上げ(※平滑 ・防滑)</li> <li>ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種</li> </ul>	T = 2		
5 集成材等	************************************	16 合成樹脂塗床	<ul> <li>・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ</li> <li>・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流しのべ仕上げ(※平滑 ・防滑)</li> <li>・厚膜流しのべ仕上げ(※平滑 ・防滑)</li> <li>・樹脂モルタル仕上げ(※平滑 ・防滑)</li> <li>ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種</li> </ul>	工事名		
5 集成材等	木材保存(木材の防腐・防蟻処理)剤は、監督職員の承諾するものとする。   ※9.0mm未満の合板上張り留め付けはタッカー留めとする。   集成材又は単板積層材の材質 [6.5.2]   ホルムアルデヒト放散量   ※規制対象外   ・第三種   日 名   規格・品質   芯材の種類   施 工 箇 所   ・造作用集成材   ※1等 ・2等   ・たも ・なら ・しおじ   ・化粧ばり造作   用 集 成 材   ・化粧ばり構造   用 集 成 材   ・造作用単板     ・造作用単板	16 合成樹脂塗床	<ul> <li>・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ</li> <li>・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流しのべ仕上げ(※平滑 ・防滑)</li> <li>・厚膜流しのべ仕上げ(※平滑 ・防滑)</li> <li>・樹脂モルタル仕上げ(※平滑 ・防滑)</li> <li>ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種</li> </ul>	<b></b> √	※厚 <i>み</i>	y( mm程度)
5 集成材等	木材保存(木材の防腐・防蟻処理)剤は、監督職員の承諾するものとする。   ※9.0mm未満の合板上張り留め付けはタッカー留めとする。   集成材又は単板積層材の材質	16 合成樹脂塗床	・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流しのべ仕上げ(※平滑 ・防滑) ・厚膜流しのべ仕上げ(※平滑 ・防滑) ・樹脂モルタル仕上げ(※平滑 ・防滑) ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 ・水性型無機系床塗料	工務課市営品	・ 央駐車場及び市庁舎	北館改修工事
5 集成材等	木材保存(木材の防腐・防蟻処理)剤は、監督職員の承諾するものとする。   ※9.0mm未満の合板上張り留め付けはタッカー留めとする。   集成材又は単板積層材の材質 [6.5.2]   ホルムアルデヒト放散量   ※規制対象外   ・第三種   日 名   規格・品質   芯材の種類   施 工 箇 所   ・造作用集成材   ※1等 ・2等   ・たも ・なら ・しおじ   ・化粧ばり造作   用 集 成 材   ・化粧ばり構造   用 集 成 材   ・造作用単板     ・造作用単板	16 合成樹脂塗床	・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流しのベ仕上げ(※平滑 ・防滑) ・厚膜流しのベ仕上げ(※平滑 ・防滑) ・樹脂モルタル仕上げ(※平滑 ・防滑) ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 ・水性型無機系床塗料  四日市市都市整備部営繕	工務課市営	※厚 <i>み</i>	北館改修工事
5 集成材等	木材保存(木材の防腐・防蟻処理)剤は、監督職員の承諾するものとする。   ※9.0mm未満の合板上張り留め付けはタッカー留めとする。   集成材又は単板積層材の材質	16 合成樹脂塗床	・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流しのべ仕上げ(※平滑 ・防滑) ・厚膜流しのべ仕上げ(※平滑 ・防滑) ・樹脂モルタル仕上げ(※平滑 ・防滑) ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 ・水性型無機系床塗料	工務課市営品	中央駐車場及び市庁舎	北館改修工事 縮尺 図面番号 A-03
5 集成材等	木材保存(木材の防腐・防蟻処理)剤は、監督職員の承諾するものとする。   ※9.0mm未満の合板上張り留め付けはタッカー留めとする。   集成材又は単板積層材の材質	16 合成樹脂塗床	・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流しのベ仕上げ(※平滑 ・防滑) ・厚膜流しのベ仕上げ(※平滑 ・防滑) ・樹脂モルタル仕上げ(※平滑 ・防滑) ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 ・水性型無機系床塗料  四日市市都市整備部営繕	工務課市営品	・ 央駐車場及び市庁舎	北館改修工事 縮尺 図面番号 A-03

24 断熱材	(標19.9.2~3)	2 下地調整	RB種の場合の既存塗膜の除去	—————————————————————————————————————	[7. 2. 1]	9 合成樹脂エマルショ	塗り工法の種別 ・A種 ※B種 ・C種 [7.10.2][表7.10.1]
) <del>도</del>	種類施工箇所厚さ(mm)品質等	/ 音	下地調整		[表7.2.1~7]	ンペイント塗り(EP)	
-	・押出法   ※2種b   ※一般部   ※25   ※ノンフロンのもの	<del>우</del>	下地面の種類	類	下地調整の種別 	10 ウレタン樹脂	塗り工法の種別 ・A種 ※B種 [7.11.2][表7.11.1]
5	ポリスチレン・特定フロンを使用しないもの	· 塗	木部		· RA種 ※RB種 · RC種	ワニス塗り(UC)	塗料の種別 ※ 1 液形 ・ 2 液形
Ę	フォーム ※3種b ・接地部分 ※25	装	<b></b>		· RA種 ※RB種 · RC種	44 1 4 11 = = 4 1 10 11	着色剤の種別・油性顔料着色剤・溶剤形顔料着色剤
Į.	保温板	改	亜鉛めっき面		- RA種 ※RB種 - RC種		木部 工法は改修標仕表7.12.1による [7.12.2][表7.12.1]
<u> </u>	・現場発泡断熱材 ※断熱材補修部分 ノンフロンタイプ	修 _	モルタル、せっこう		• RA種 ※RB種 • RC種	(0\$)	
- -	・一般部   ※15	工	コンクリート及びALCパネノ		• RA種 ※RB種 • RC種	12 木材保護塗料塗り	工法 · A種 ※B種 [7.13.2][表7.13.1]
<b>*</b>	<b>難燃性・3級・2級</b>	<del>事</del>	せっこうボード、そ	の他ボード面	・RA種 ※RB種 ・RC種	(WP)	
			既存モルタル下地面等のひび	割れ部の補修	[表7.2.4~6]	1 鉄筋の種類	[8. 2. 1] [表8. 2. 1]
	ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材の		⊙行わない ・行う(補修箪	団田及び補修方法は図	示)	8	_ 種類の記号 径
	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種				-	₹	- S D 295 A ※ D 16以下
		3素地ごしらえ	素地ごしらえ		[7.3.1~7] [表7.3.1~7]	π <del>.1</del>	- S D 345
25 フリーアクセス	(標20.2.2)		素地面の種類	種別	備考	ניון   	
フロア	施工 箇 所 仕上り高 耐震性能 耐荷重性能 表面仕上げ材		± ± ± 7	AIE DIE	不透明塗料塗りの場合はA種	改	網目の形状 (※ 150x150 - 100x100 - 50×50 ) [8.2.2]
	- 3000N - 帯電防止床タイル		木部	・A種 · B種	透明塗料塗りの場合はB種	<b>冬</b> 冬	鉄線の径 (mm) (※ 6.0 ・3.2
	・5000N ・タイルカーペット		All AEE	ATT O DIE MA	8節[耐候性塗料塗り(DP)]の場合は、	I	
	スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・図示		鉄鋼面	- A種 ⊙ B種 ※	C種 B種とする	事 3 鉄筋の材料試験	※JIS規格品については径の異なるごとに 1 t 未満の場合は規格証明書 [8.2.3]
			亜鉛めっき面	- A種 · B種			の提出を省略することができる。
26 可動間仕切	(標20.2.3)		ー モルタル、せっこうプラスター面	・A種 ※B種			
	横造形式 パネル部の総厚さ(mm) 表面材種 厚さ(mm) 表面仕上げ				8節[耐候性塗料塗り(DP)]の場合は、	   4 継手及び定着	鉄筋の継手方法 [8.3.4][表8.3.3]
			コンクリート及びALCパネル面	・A種 ※B種	コンクリート及び押出形成セメント版面による	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	・径 D 19mm以上の柱、梁の主筋はガス圧接、その他は重ね継手
	※パネル式       ※鋼板       ※メラミン樹脂又は         ・スタッド式       (※0.6 ・0.8)       アクリル樹脂焼付け		コンクリート及び押出形成セメント版面	 ī - A種 - B種			・重ね継手
				- NIE DIE	世っこうボードの目地工法が継目処理工法		・ 里ね極子   継手位置 ※標仕各部配筋参考図による ・ 図示 [8.3.4]
	・スタッドパネル式 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		せっこうボード、その他ボード	゛面 ・A種 · B種	の場合はA種、その他の場合はB種とする		
	遮音性 ・あり( ・ ・なし ・ ・				ングロISNIE、 C V IEV 物口ISU性C y る		定着長さ ※改標仕[表8.3.4]による ・図示 [8.3.4][表8.3.4]
07 16 FLBB / 17 / 17		<u> </u>	نم المالية الم			Г +#+ <i>М</i> т 4П +	以及如形数套老圆圆1.11- L.7 圆 =
27 移動間仕切り	操作方法 ・手動式 ・電動式 ・部分電動式 (標20.2.4)	(4) 錆止め塗料塗り	塗料種別		[7. 4. 2]	5 帯筋組立の形	※各部配筋参考図図1.1による・図示 [8.3.4]
	パネル表面材(・ ) 遮音性(・ )		鉄鋼面 ※A種(		• D種 • E種 [表7. 4. 1]	A 54	
	パネル及び圧着装置の操作方法(・		仕上げEP-Gの場		) ※B種	6 壁の配筋及び補強	※標仕各部配筋参考図4節による・図示 [8.3.7]
			亜鉛めっき鋼面 ※A種		[表7.4.2]	,,	
28 トイレブース	パネル表面材 ※高圧メラミン樹脂系化粧板(アルミ製コナーエッジ付き) (標20.2.5)		仕上げEP-Gの場	合 ・ A 種(	) ※C種	7 ガス圧接	圧接部の確認試験 [8.3.8]
	・ポリエステル樹脂系化粧板(アルミ製コナーエッジ付き)		錆止め塗料塗り		[表7.4.3~4]		※超音波探傷試験 引張試験
	脚 部 (ステンレス製) ※幅木タイプ ⊙脚金物タイプ		鉄鋼面塗り替えの場合の種	別・A種	· B種 ※ C種	8 コンクリートの	コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・軽量コンクリート [8.1.3]
			亜鉛めっき面の塗りの種別	• A 種 • B 種	※ C 種	種類及び強度	
②9 階段滑り止め	材種 ※ステンレス製ビニルタイヤ入り・ (標20.2.6)		亜鉛めっき面EP-G塗り	替えの場合の種別	・A種 ・B種 ※C種		普通コンクリートの類別 ※I類 ·/II類 [8.1.3][表8.1.1]
	寸法 ※幅 35mm ・ 取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法		新規鉄鋼面、亜鉛めっき面	の塗りの種別	※標仕18.3.3による		仕上りの平たんさ種別 ・ a 種  ・ c 種 ・ c 種 [8.1.4] [表8.1.5]
30 黒板及び	(標20.2.8)						普通コンクリートの設計基準強度 [8.1.4]
ホワイトボード	種 類 寸 法(mm) 色 彩 備 考	(5)合成樹脂調合	塗り工法		[7.5.1~4][表7.5.1~3]		設計基準強度 F o 施工 箇 所
	・黒板 ※ホーロー ※緑 · 黒 ※平面 · 曲面 ·	ペイント塗り(SOP)		料種類 塗り			$\frac{2}{2}$ $\frac{2}{N}$ $\frac{N}{mm^2}$
	※焼付け   ※緑 • 黒	121 = 7 (661)			■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■		
	・ホワイト ※ホーロー ※白		71.113		<u> (</u> ※B種 · )		
	ボード				※B種 · C種		軽量コンクリートの設計基準強度 [8.1.3~4][8.9.1~2][表8.9.1]
					標仕7.4.5よる •		社童コンケリードの設計基準強度
21			単鉛のうき面   次1個	图 2個 次以修	<u> </u>		設計基準强度 $F$ 0
31 ブラインド	・既存再使用する(養生方法 ) [2.3.1][5.1.6]	6マカリル母昨るませ	│ │ 塗替えの場合の下地調整	・RA種 ※RB種	• RC種 [7. 2. 5~6]		
	・新設する     (標20.2.12)						※ 21 (N/mm )   ※1.9程度   ※1種
	形式     種類     スラットの材種・幅(mm)     施工箇所	分散形塗料(NAD)	塗り工法の種別 ・A種	次日俚	[7. 7. 2] [表7. 7. 1]		_ •
	※横型   ※ギヤ式 ・コード式   ※アルミニウム合金 ※25		\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	DATE WORTE DOTE			
	- 操作棒式 -	(1)   耐候性塗料塗り(DF	) 塗替えの場合の下地調整・			9 コンクリートの材料	※普通ポルドランドセメント又は混合セメントのA種 [8.2.5] [表8.2.3]
	・縦型 ・1 本操作コード ・アルミスラット ・80		・ 鉄鋼面 工法は、		[7.8.2][表7.8.1]		・高炉セメントB種 適用箇所( )
	※2本操作コード ・クロススラット ・100		・亜鉛めっき面 工法は、	表7.8.2	[7.8.3][表7.8.2]		・フライアッシュセメントB種 適用箇所( )
			上塗種別				・アルカリシリカ反応による区分 ※A
32 ロールスクリーン	材種・品質 ( ) (標20.2.13)		· JISK5659 (1級)	ふっ素系樹脂塗料			・フェロニッケルスラグ細骨材は使用しない
	操作方法(		• JISK5659 (2級)	シリコン系樹脂塗料			
			<ul><li>● JISK5659 (3級)</li></ul>	ポリウレタン系樹脂		10 モルタル及び	[8. 2. 6] [8. 2. 12]
33 カーテン	・既存再使用する(養生方法 ) [2.3.1][5.1.6]		・コンクリート面、押出成型		[7.8.4][表7.8.3]	グラウト材	グラウト材 ※無収縮グラウト材 (圧縮強度 45N/mm²以上)
	・新設する (標20.2.14)		工法は、表7.8.3 種別は	(・A-1種 ・A-2種	・B-1種 ・B-2 ・C-1種 ・C-2種)		太平洋プレユーロックス(太平洋マテリアル) マスターフロー540グラウト(BASFポゾリス)
	施 工 箇 所 名 称・品 質 ひだの種別 形 式		上塗種別				ノンシュリンクライトグラウト(ABC商会) デンカ プレタスコン TYPE-1(電気化学工業)
	・箱ひだ等 ・片ひだ ・片引 ・引分		• JISK5658 主要原料	ふっ素樹脂(1級)			社団法人 公共建築協会の評価を受けているもの
	・箱ひだ等 ・片ひだ ・片引 ・引分		• JISK5658 主要原料	シリコーン樹脂(2約	级)		
	防炎加工 消防庁認定の 〈イ とする		• JISK5658 主要原料	ポリウレタン樹脂(	(3級)		柱底等の均しモルタル ※無収縮モルタル ・モルタル
	カーテンレール・アルミニウム製 ※ステンレス製 ※C型又はD型	8 つや有合成樹脂			[7.9.2~5][表7.9.1~4]		太平洋プレユーロックス(太平洋マテリアル) マスターフロー870グラウト(BASFポゾリス)
	カーテンきれ地のはぎれ ※半幅未満は使用しない・一幅未満は使用しない	エマルション	│ │ 下地の種類	涂し	リエ法		ノンシュリンクライトグラウト(ABC商会) デンカ プレタスコン TYPE-1(電気化学工業)
	暗幕用カーテンの重なりは300mm以上とする。なお、重ねか所は下記による。	ペイント塗り(EP-G)			<u> </u>		社団法人 公共建築協会の評価を受けているもの
	<ul> <li>・両端 ・上部 ※召合わせ</li> </ul>		その他ボード面	121720	/	11/無筋コンクリート	11.1~3]
	天井点検口 ※アルミニウム製 (※額縁タイプ ・目地タイプ)		木部	李氏 土目 /	※A種 ・ ) 塗替え(※B種 ・ )		=0.=1.甘油み曲 c 。 フェンプ
(34) 占給口					<u> </u>		種 類   設計基準強度 F O   スプンプ   粗骨材の最大寸法   適用箇所 (N/mm <sup>2</sup> )   (cm)
34 点検口			│ │ 亜鉛めっき鋼面		<u>・A 惺 ・B 惺)                                </u>		(N/mm-) (Cm) (Cm)   ※普通コンクリート ※18 ※15又は18 ※25
③4 点検口	床点検口 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 受け枠(・ )		·			/	小日四コンノノ   1
	床点検口 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 受け枠(・ )						
34 点検口 35 流し台ユニット	床点検口       ※アルミニウム製       ・ステンレス製       受け枠(・       )         種類       寸 法       適用内容       規格・品質等			※改修標仕 7.9.2に。 	よる ・行わない	1	
	床点検口       ※アルミニウム製       ・ステンレス製       受け枠(・       )         種類       寸法       適用内容       規格・品質等         流し台       ※1200・1500・       トラップ付			※改修標仕 1.9.2に。	よる · 1Tわない	工事名	
	床点検口       ※アルミニウム製       ・ステンレス製       受け枠(・       )         種類       寸 法       適用内容       規格・品質等			※改修標仕 1.9.2に。			
	床点検口       ※アルミニウム製       ・ステンレス製       受け枠(・       )         種類       寸法       適用内容       規格・品質等         流し台       ※1200・1500・       トラップ付			※改修標仕 7.9.2に。	四日市市都市整備部営繕	- 74 -W	中央駐車場及び市庁舎北館改修工事
③5 流し台ユニット	床点検口       ※アルミニウム製       ・ステンレス製       受け枠(・       )         種類       寸法       適用内容       規格・品質等         流し台       ※1200・1500・       トラップ付         コンロ台       ※600・700・       バックガード付			※改修標仕 7.9.2に		工務課市営	中央駐車場及び市庁舎北館改修工事
	床点検口       ※アルミニウム製       ・ステンレス製       受け枠(・       )         種類       寸法       適用内容       規格・品質等         流し台       ※1200・1500・       トラップ付         コンロ台       ※600・700・       バックガード付         ・屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする。       [7.1.3]			※改修標仕 7.9.2に	四日市市都市整備部営繕	工務課 市営 <sup>田付</sup>	中央駐車場及び市庁舎北館改修工事 図面名 縮尺 図面番号
③5 流し台ユニット	床点検口       ※アルミニウム製       ・ステンレス製       受け枠(・       )         種類       寸法       適用内容       規格・品質等         流し台       ※1200・1500・       トラップ付         コンロ台       ※600・700・       バックガード付			※改修標仕 7.9.2に		古務課 市営 <sup>日付</sup>	

	12 調合管理強度	構造体強度補正値(S)	3]	3. 2. 5] [表8. 2. 4]	26 あと施工アンカー	・金属拡張アンカー	[8. 2. 4]		表9.1.2 万	アスベスト粉じん濃度測定方法		
8			(普通ポルトランドセメン	<u>/</u>	の材料	※接着系アンカー	<b>-</b> %)			測 定 3	測定1 , 2 , 4 , 6 ,	7,8   測定5
章			補正値(N/mm²) 備 考			接着剤の材質及びカプセルの種類 (ガラス管タイ 日本デコラックス(株) ケミカルアンカーR、			計数機器	位相差顕微鏡	25mm	47mm
		2/25~7/ 7 9/ 7~11/22	3. 0 6. 0			世帯チョブラッス(株) グミカルテンガード、 旭化成ジオテック(株) ARケミカルセッター			メリフレン   試料の吸引派	フィルタの直径		101/min
耐		11/23~2/24 7/ 8~9/ 6	6.0 暑中コンクリー				くは同等品以上		試料の吸引が 試料の吸引が	,	120 min	210 min
耐震改		1/ 8~9/ 0	0.0   者中コンソリー	<u>F</u>			、用棒鋼 (D16以上SD345)		試料の透明作			
	13 コンクリートの	   ※コンクリートの強度試験の試験回数は、	下記による。	[8.8.2~3]		・全ねじボルト	WITH SELECTION CONTRACTOR OF THE SELECTION CONTRACTOR OF T		計数条件	総アスベスト繊		
T	試験	20m <sup>3</sup> 以下の場合の試験については、監督		0.0.2	27 あと施エアンカー	施工管理技術者 ※置く ・置かない /	[8. 12. 2]		計数アスベス		<u>根数 200年入18代</u> 長さ5μm以上、長さと直径	
事	H-A-92X	20~50m <sup>3</sup> の場合は任意の一車より試料を			の施工				定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/I
		50m <sup>3</sup> 以上は 改修標仕8.8.3による。			28 あと施エアンカー	穿孔前の埋込み配管等の探査	[8. 12. 4]			 隔離養生 ※行 <b>う</b>		1 373 171
					の穿孔	範囲 ・あと施エアンカー施工部分全て ・図	示		除去工法			
	14 型枠	打ち放し仕上げの種別		[8. 1. 4]		方法 ・探査機により探査し、配管等の位置の墨	出しを行う。		※除去工法	については、工法に関する資料を監	a督職員に提出し、承諾を <sup>タ</sup>	导ること。
	<del>-</del>	<u></u>	所			・はつり出したよる						
		· A 種				穿孔方法 ・低騒音、低振動工法とする(工法に	ついては、監督員の承諾を得ること)		処分方法			
		※B 種							・埋立処分	の場合は、特別管理産業廃棄物とし	ノて、管理型最終処分場の⁻	一定の場所で
		· C 種			29 あと施エアンカーの	施工確認試験	[8. 12. 5] [8. 12. 7]		埋立処分	する。		
		外部に面するコンクリート打ち放し仕上げ	ずの打増し ・20 ※図示	[8. 7. 8]	確認試験	※全数打音試験を行う.			・中間処理	の場合は、都道府県知事等から処置	まますを受けた溶融施設に <i>は</i>	おいて溶融又は
						・引張試験は増設壁又は鉄骨ブレス1箇所あたり1本	よとし、引張荷重は設計強度の2/3以上		環境大臣	の認定を受けた無害化処理施設にお	いて無害化処理を行う。	
	15 鉄骨製作工場	・監督職員の承諾する工場		[8. 1. 5]		とする.場所については監督職員の指示による.						
		・(社)全国鉄構工業協会、(株)日本鉄骨部		-ド以上)								
		(·S·H·M·R·J)		FO 1 63		グラウト材の品質管理	[8. 21. 9] [8. 22. 7]			有仕上塗材の除去(除去工法、養生		
	16 鉄骨工作図	施工管理技術者 ・配置する ・面   **********************************	配置しない / ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	[8.1.6]	取り合い	※圧縮強度試験を行う(3日,28日、封かん養生)		塗材の除去		は、「建築物の改修、解体時におい	<b>する石綿含有建築用仕上塗</b>	:材からの石綿粉じん   
	10 妖育工作凶	国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鋭		[8. 13. 2]	1 加井平	※コンシステンシー試験を行う.				技術指針」による。		
	17 次快等现代 <del>次</del>		次月 改訂 本年」 (くみ る。		(1)一般事項	労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の				有仕上塗材の有無 ⊙有 ・無 (マスチック塗/壁下地調整材/複層塗ホ	<i>₃</i> ∤ )	
	17 溶接管理技術者	・配置する・配置しない		[8. 15. 2]	9	│ 石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業 │ 記述上の指針)を遵守すること。	ミ務での分割石の石柿はく路防止に関する			E, 巾木(市営中央駐車場) /階段室		壁(市庁舎北館))
	18 鋼材	  鋼材の材質、規格は下表による。		[8. 2. 8]	<del>-</del> 章	・アスベスト除去に伴う官公署等への届出申請を行う	_   			・全面撤去 ・②図示による	工、中日十八四十一一一一一一一一一一一一一	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
					-m	O. C.				・ 全面撤去 ・ 凶示による 則湿潤化し、下記工法とする)		
				────────────────────────────────────	環   	│ │石綿障害予防規則及び大気汚染防止法の各規定に基つ	づく官公署等への届出等を行うこと。			法 ○手工具ケレン工法 (壁つな)	よぎ部分:集塵装置付)	
			·	────────────────────────────────────	·兄   • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	・石綿含有事前調査結果の都道府県知事及び労働基準	監督署への報告を行うこと。			置付高圧水洗工法 ○集じん装置		     音波ケレンエ法
			}	────────────────────────────────────	<del>も</del> 思	・事前調査結果及び特定粉塵排出等作業の掲示を行う	こと。			用高圧水洗工法 • 剥離材併用超		
					改	・アスベスト除去に伴う作業計画の作成を行うこと。				用超音波ケレン工法 ①集塵装置		
	19 高カボルト	※トルシア形高カボルト ・JIS形高カボル	レト ・溶融亜鉛めっき高カボルト	[8. 2. 9] <b>1</b>	修   -	・アスベスト除去完了に伴う発注者への報告を書面に	て行うこと。		上記工法	によらない場合は監督職員と協議	の上、承諾を得ること。	
		径 ( )			上   虫				除去工法の試	験施工 ・行う ※行わない		
		すべり係数試験・実施する ※実施した		[8. 14. 2]		アスベスト含有吹付け材の封じ込め処理 ・行う	⊙行わない [9.1.1]		作業場の隔離	及び養生		
		試験方法(	の摩擦面の状態( )		の処理工事	アスベスト含有吹付け材の囲い込み処理・行う	⊙行わない		「建築物等の	解体等に係る石綿ばく露防止及び	石綿飛散漏えい防止対策符	敵底マニュアル」による。
		<b>以口0世4日</b>		FO O 107			行わない			不要 ⊙隔離養生必要(負圧不要)	(マスチック塗撤去時)・その	他 ( )
	20 鋼材の材料試験	※JIS規格品については種類の異なるごと	に1t未満の場合は規格証明書	[8. 2. 13]		施工箇所及び工法 ※図示			処分方法			
		の提出を省略することができる。			(3)アスベストの含有	八七に トス 強却 こ ( てまに トス) ( 公伝やナ				場合は、特別管理産業廃棄物として		
	01 凉快场工	エンドタブの種類 ※鋼製タブ		[8. 15. 7]	調査	分析による確認 ・行う(下表による) ⊙行わた 材 料 名 調査方法	1材料あたりの試料数			場合は、都道府県知事等から処置討		ハて溶融乂は環境大臣の
	21 溶接施工	インドメンの程規	ウスタブとし、以下の書類を提出し、 <b>!</b>		<b>问</b> 生		※定量分析(※3 ・ )		認定を受け	た無害化処理施設において無害化処	:埋を行う	
		を得ること。	, , , , , c o , , , , o a , , c , c a o , i			※定性分析(3 · )	※定量分析(※3 · )	(6)アスベスト含有保温	アスベスト含	有保温材の有無 ・有 ⊙無		[9. 1. 4]
		・セラミックスタブの使用実績				※定性分析(3 · )	※定量分析(※3 · )	材等の除去	除去保温材(	) 含有	場所(	)
		・AW検定協議会の代替エンドタブ技量	量認定資格者または日本エンドタブ協:	会によるエンド					作業場の隔离	惟 ※行う		
		タブ施工講習(溶接技能者・固形タ	タブ・A級)修了者の資格証		4 アスベスト含有吹付	アスベスト含有吹付材の有無 ・有 ①無	[9. 1. 3]		・埋立処分の	場合は、特別管理産業廃棄物として	一、管理型最終処分場の一方	定の場所で埋立処分する。
		・鉄骨製作工場における施工実績			け材の除去	除去吹付材( ) 含有場所	(		・中間処理の	場合は、都道府県知事等から処置評	f可を受けた溶融施設におし	いて溶融又は環境大臣の
		エンドタブの切断 ・行う(	)・行わない			吹付けアスベストの施工数量調査 ※行う			認定を受け	た無害化処理施設において無害化処	<u>』</u> 理を行う	
		スカラップ /※改良型スカラップ				アスベスト粉じん濃度測定 ※行う						
	22 溶接部の試験		※行う(9mm以上) ・行わない	[8. 15. 12]		表9.1.1 アスベスト粉じん濃度測定				有成形板の有無 ・ ・ 無		[9.1.5]
		試験箇所数 耐震ブレース ※改修				測定時期 測定名称 測 定 場 所	測 定 点 (各施工箇所ごと) 備考	│ 板の除去 │		ビニル床タイル、けい酸カルシウム板、高分	子ルーフィング防水 )含有場層	所( 図示 )
	00 8= 1 11 25 401		±7.6.12(イ)による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	FO 47 07		測定 1 処理作業室内	各 2 点又は 3 点 (注) 1			・行う ①行わない	: # /#F== : * /- *	
	23 錆止め塗料	<ul><li>・鉄骨造の鉄部錆止め塗料の種別は、下記</li><li>・JIS K 5625</li><li>・JIS K 5674</li></ul>	iC ⊂ 9 る。	[8. 17. 3]		処理作業前 測定 2 施行区画周辺 又は、敷地境界	計 2 点 大気		次句稀宮有ケ	イカル板第一種の除去は、隔離養	エ(貝圧小安)を行う	
		・DP/塗装の場合 JIS K 5552 + JIS K 5	5551(2回)			測定 3 処理作業室内	各2点又は3点 (注)1					
			行う ※行わない			測定4 セキュリティーゾーン入口	<u> </u>		石綿含有石膏	ボード		
	24 耐火被覆材			[8. 18. 2~7]		処理作業中 集じん・排気装置	<b>○ 加田前</b> 仏			終処分場で埋立処分する。		
			所要性能及び適用構造部位			測定 5 の排出口	1点 (注) 2		石綿含有石膏:	ボード以外		
		・耐火材・乾式吹付けロックウール				(処理作業室外の場合)			・埋立処分の	の場合は、石綿含有産業廃棄物とし	,て、安定型最終処分場の·	一定の場所で
	/	吹付け ・半乾式吹付けロックウール				測定 6 施行区画周辺	4 方向各 1 点		埋立処分	する。		
		・湿式ロックウール				スは、敷地境界				の場合は、都道府県知事等から処置		おいて溶融又は
		- 耐火板張り				処理作業後 測定 7 処理作業室内	各 2 点又は 3 点 (注) 1		環境大臣	の認定を受けた無害化処理施設にお	いて無害化処理を行う。	
		・ラス張りモルタル塗り				(隔離シート撤去前) 測定8 施行区画周辺 別定8 又は、敷地境界	4 方向各 1 点 大気	(a) 4+	<b>&gt;&gt; + - + :</b> - <del></del> -	異体研え417 老ノナ海もや、		
		- 耐火塗料		01 07 00 07		又は、敷地境界	+ 0 占 200㎡以下ナポナの上しナフ	8)特記事項		置管理させる者(有資格者) 物質等作業主任者(H18.3.31以前	の護型体マチン	
	25 既存コンクリート		8.1	. 21. 3] [8. 22. 3]		(注)1. 各施工箇所ごとの室面積が50㎡以下までは				物員等作業主任者(FI 8. 3. 3 I 以削作業主任者(HI 8. 4. 1以降の講習傾		
	面の目荒し	<ul><li>※既存コンクリートとの打継ぎ面</li><li>※既存コンクリートとモルタル又はグラ</li></ul>	うウトなな哲型の位合を			300㎡を超えるものは、監督職員と協議す (注)2. 集じん・排気装置の性能確認	ଏ ୦		人は石柿	IFネエロコ (IIIO. 4. 1 以降の語音)	ァ <b>』</b> ロ/	
		水帆行コンソソートとモルダル又はグラ	ノノロ例ル場即以按百曲			(/エ/ ~ 木 し/レ゙ カケ メス 衣 皀 炒 圧 牝 傩 祕						
		・  目荒らしの範囲						工事名				
		日元らしの戦闘	の3/4以上				·····································	<b></b>	· · · · ·			
		※壁面 打継ぎ面又は接合面全面の	•				四日市市都市整備部営繕	└ 狩 祘 │ 市営「	中央駐車	場及び市庁舎北館改	修工事	
								日付		図面名		縮尺  図面番号
		目荒らしの程度					一級建築士 登録 第	号				A-05
		※平均深さ5~10mmで最大深さ15mm	m程度の凹部を施す					4	年 月	特記仕様書(改修5)		/
/							四日市市諏訪町1番5号				令和 6 年版	/

個人情報の取り扱いに関する事項

#### (基本事項)

- 第1 この契約による工事の施工者(以下「乙」という。)は、この契約による工事を施工するに当たり、個人情報を取り 扱う際には、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。 (施工者の義務)
- 第2 乙及びこの契約による工事に従事している者又は従事していた者(以下「乙の従事者」という。)は、当該工事を施 事を施工するに当たり、個人情報を取り扱うときは、個人情報の保護に関する法律(平成15年法律大57号。以下「法」 という。)67条に規定する義務を負う。
- 2 乙は、この契約による工事において個人情報が適正に取り扱われるよう乙の従事者を指揮監督しなければならない。 (秘密の保持)
- 第3 乙及び乙の従事者は、この契約による工事を施工するに当たって知り得た個人情報を当該工事を施工するために必要 | な範囲を超えて使用し、又は他人に知らせてはならない。
- 2 乙は、乙の従事者が在職中及び退職後においても、前項の規定を遵守するように必要な措置を講じなければならない。|
- 3 前2項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

#### (適正な管理)

- 第4 乙は、この契約による工事に係る個人情報の漏えい、滅失又は改ざんの防止その他の個人情報の適正な管理のために 必要な措置を講じなければならない。
- 2 乙は、個人情報の適正な管理のため、管理責任者を置くものとする。
- 3 管理責任者は、個人情報を取り扱う工事の従事者を必要な者に限定し、これらの従事者に対して、個人情報の管理方 法等について適正な指導管理を行わなければならない。
- 4 四日市市(以下「甲」という。)は、必要があると認めたときは、個人情報の管理状況等に関し、乙に対して報告を 求め、又は乙の作業場所を実地に調査することができるものとする。この場合において、甲は乙に必要な改善を指示| することができるものとし、乙は、その指示に従わなければならない。

#### (収集の制限)

第5 乙及び乙の従事者は、この契約による工事を施工するために、個人情報を収集するときは、当該工事を施工するため に必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。

#### (再提供の禁止)

- 第6 乙は、あらかじめ甲の承諾があった場合を除き、この契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供してはならない。
- 2 乙は、前項の承諾により再提供する場合は、再提供先における個人情報の適正な取り扱いのために必要な措置を講じ なければならない。
- 3 前項の場合において、乙は、再提供先と本注意事項に準じた個人情報の取り扱いに関する契約を交わすものとする。 (複写、複製の禁止)
- 第7 乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による工事を施工するに当たって、 甲から提供された個人情報が記録された資料等(以下「資料等」という)を複写し、又は複製してはならない。 (持ち出しの禁止)
- 第8 乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、資料等(複写又は複製したものを含む。第9| において同じ。)を契約書に指定された作業場所から持ち出してはならない。
- 2 甲及び乙は、乙が前項の指示又は承諾により資料等を持ち出す場合、その内容、期間、持ち出し先、輸送方法等を書 面により確認するものとする。
- 3 前項の場合において、乙は、資料等に施錠又は暗号化等を施して関係者以外の者がアクセスできないようにするとと もに、資料等を善良なる管理者の注意をもって保管又は管理し、漏えい、滅失及びき損の防止その他適切な管理を行 わなければならない。

#### (資料等の返還)

- 第9 乙は、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等を、当該工事の終 了後速やかに甲に返還、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により廃棄、又は消去する場合を除く。
- 2 前項の廃棄又は消去は、次の各号に定めるほか、他に漏えいしないよう適切な方法により行うものとする。

#### (1) 紙媒体 シュレッダーによる裁断

- (2) 電子媒体 データ完全消去ツールによる無意味なデータの上書き、もしくは媒体の破砕
- 3 乙は、第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供したときは、当該工事の 終了後速やかに当該第三者から資料等を回収のうえ甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示 により、乙又は第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合を除く。
- 4 前項ただし書の規定により、第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合においては、乙は、当該資料等が廃棄、又 は消去されたことを直接確認しなければならない。

#### (研修・教育の実施)

第10 乙は、乙の従事者に対し、個人情報の重要性についての認識を深めるとともに、この契約による工事における個人情 報の適正な取り扱いに資するための研修・教育を行うものとする。

#### (苦情の処理)

第11 乙は、この契約による工事の施工に当たって、個人情報の取り扱いに関して苦情があったときは、適切かつ迅 速な処理に努めるものとする。

#### (定期報告及び事故発生時における報告)

- 第12 乙は、甲から個人情報の取扱の状況について報告を求められた場合は、直ちに報告しなければならない。
- 2 乙は、この個人情報取扱注意事項に違反する事故が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速や かに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。

#### (監査及び検査)

- 第13 甲は、この契約による業務に係る個人情報の取り扱いについて、この契約の規定に基づき必要な措置が講じら れていることを検証および確認するため、乙及び第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による業務を受託 し、又は請け負った第三者に対して、監査又は検査を行うことができる。
- 2 甲は、前項の目的を達するため、乙に対して必要な情報を求め、又はこの契約による業務の処理に関して必要 な指示をすることができる。

#### (契約解除及び損害賠償)

第14 甲は、乙又は乙の従事者がこの個人情報取扱注意事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠 償の請求をすることができる。

#### 1. 契約の解除

四日市市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱(平成20年四日市市告示第28号)第3条又は第4条の規定 により、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加加資格停止措置を受けたときは、契約を解除 することがある。

#### 2. 暴力団等による不当介入を受けたときの義務

- (1)不当介入には、断固拒否するとともに、速やかに警察へ通報並びに業務発注所属へ報告し、警察への捜査協力 を行うこと。
- (2) 契約の履行において、不当介入を受けたことにより、業務遂行に支障が生じたり、納期等に遅れが生じるおそ れがあるときには、業務発注所属と協議を行うこと。
- (3)(1)(2)の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止等の措置 を講ずる。

#### 1. 対応要領に沿った対応

- (1) この契約による事務・事業の実施(以下「本業務」という。)の請負(委託)を受けた者(以下「受注者(受 託者)」という。)は、本業務を履行するに当たり、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成 25年法律第65号。以下「法」という。)に定めるもののほか、障害を理由とする差別の解消の推進に関す る四日市市職員対応要領(平成29年2月28日策定。以下「対応要領」という。)に準じて、「障害を理由 とする不当な差別的取扱いの禁止」及び「社会的障壁の除去のための合理的な配慮の提供」等、障害者に対す る適切な対応を行うものとする。
- (2)(1)に規定する適切な対応を行うに当たっては、対応要領に示されている障害種別の特性について十分に留 意するものとする。

#### 2. 対応指針に沿った対応

上記1に定めるもののほか、受注者(受託者)は、本業務を履行するに当たり、本業務に係る対応指針(法第11 条の規定により主務大臣が定める指針をいう。)に則り、障害者に対して適切な対応を行うよう努めなければなら

### 四日市市都市整備部営繕工務課

一級建築士 登録 第

四日市市諏訪町1番5号

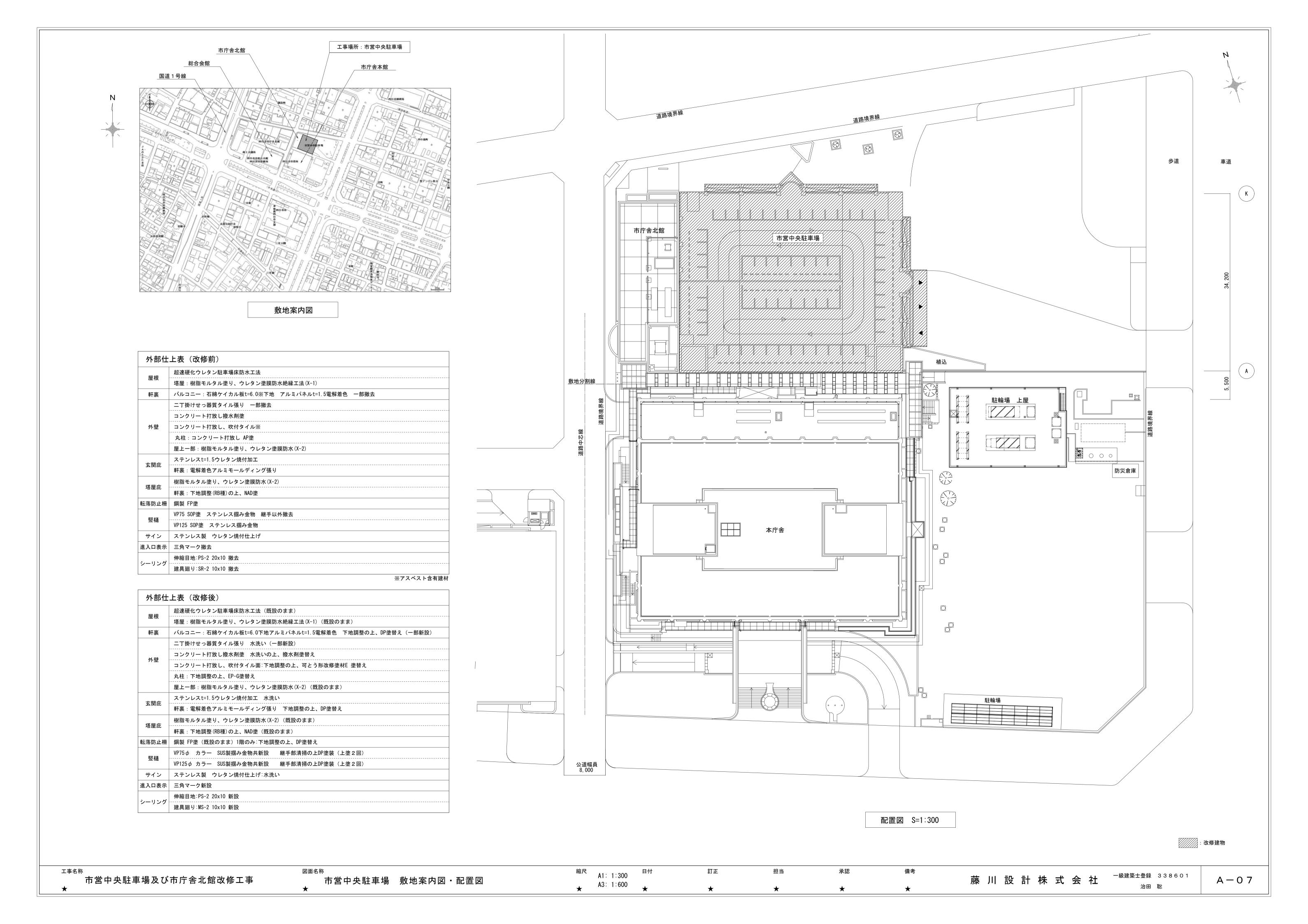
## 市営中央駐車場及び市庁舎北館改修工事

工事名

日 付 図面名

> 特記仕様書(改修6) 年 月

図面番号 縮尺 A-06 令和6年版



마고그	-表(改修前)					
<b>当数</b>	室名	床	巾木	壁	天井	備考
通	駐車場	マスチック塗※既設のまま	マスチック塗H=60※既設のまま	コンクリート打放し一部吹付タイル※、二丁掛けタイル	パーライト吹付※(梁:コンクリート打放し一部吹付タイル※) 既設のまま	排水溝蓋:鋼製グレーチングW450(T-14)、カーブミラー 撤去
		下地アスファルト舗装 既設のまま	下地コンクリート 既設のまま	地下外壁面:塗膜防水	B1階一部:けい酸カルシウム板t=6.0※樹脂リシン吹付 撤去(LGS下地共)	車止め、駐車ライン、道路標示※撤去
	車路 (直線部)	マスチック塗※撤去	マスチック塗H=60※既設のまま	コンクリート打放し	パーライト吹付※	排水溝蓋:鋼製グレーチングW450(T-14) 撤去
		下地アスファルト舗装 一部撤去	下地コンクリート 既設のまま		梁:コンクリート打放し	
	車路(コーナー部)	マスチック塗※撤去	マスチック塗H=60※既設のまま	コンクリート打放し	パーライト吹付※	
		下地アスファルト舗装t=40撤去	下地コンクリート 既設のまま		梁:コンクリート打放し	
	階段室A, B, C	ビニル床タイルt=2.0※撤去	モルタル金ごてVP塗	コンクリート打放し吹付タイル※	パーライト吹付※	鋼製手摺
		モルタル金ごて下地 既設のまま			木毛セメント板パーライト吹付※(最上階)	樹脂笠木34φアルミ手摺
	バルコニー	アスファルト防水マスチック塗※撤去	(立上り)アスファルト防水マスチック塗H=300※撤去	コンクリート打放し一部吹付タイル※	カラーアルミパネルt=1.5 取外し	中継ドレン75φ用 撤去 竪樋:VP75 SOP塗撤去
		下地コンクリート金ごて押え 既設のまま	下地コンクリート 既設のまま		LGS下地 既設のまま	ルーフドレン75φ用ドレンキャップ撤去
階	進入路	アスファルト防水マスチック塗※撤去	(立上り) コンクリート打放し	二丁掛けタイル	パーライト吹付※	ゲート用基礎
		下地アスファルト舗装t=40撤去		 丸柱φ1050	梁:コンクリート打放し	 管理用ブース
	湯沸室	ビニル床タイルt=2.0※一部撤去	ビニル巾木H=75 一部撤去	コンクリート下地モルタルVP塗	LGS下地化粧PBt=9.0	ステンレス流し 撤去
		土間コンクリート、モルタル下地 一部撤去		LGS下地けい酸カルシウム板t=8.0の上、陶器質タイル100角	※: コンクリート打放しEP塗	吊戸棚、ステンレス水切棚:既設のまま
	事務室便所	磁器質タイル25角(モルタル下地共)、アスファルト防水撤去		陶器質タイル100角既設のまま	けい酸カルシウム板t=6.0 ※VP塗撤去	
		土間コンクリート 、立上りスラブ撤去		コンクリート下地(一部コンクリートブロック下地) 既設のまま	LGS下地撤去	
	男子便所	磁器質タイル 45角(モルタル下地共)撤去		磁器質タイル100x50既設のまま	LGS下地けい酸カルシウム板t=6.0%VP塗撤去	人造大理石トイレブース撤去
		アスファルト防水下地 既設のまま		コンクリート下地(一部コンクリートブロック下地) 既設のまま	梁:モルタル金こてVP塗	
	女子便所	磁器質タイル45角(モルタル下地共)撤去		磁器質タイル100x50既設のまま	けい酸カルシウム板t=6.0※VP塗 撤去	人造大理石トイレブース撤去
		アスファルト防水下地 既設のまま		コンクリート下地(一部コンクリートブロック下地) 既設のまま	LGS下地 撤去	
	身障者便所	ビニル床シートt=2.0撤去		磁器質タイル100x50既設のまま	LGS下地けい酸カルシウム板t=6.0 ※VP塗 撤去	
		アスファルト防水下地 既設のまま		コンクリート下地(一部コンクリートブロック下地) 既設のまま	梁 : モルタル金こてVP塗	
	便所前室	マスチック塗※既設のまま		二丁掛タイル	LGS下地けい酸カルシウム板t=6.0※VP塗 撤去	
		下地アスファルト舗装 既設のまま		下地コンクリート	梁 :モルタル金こてVP塗	
R階	EVホール	ビニル床シートt=2.0 ※撤去	モルタル金ごてVP塗	コンクリート打放し吹付タイル※	化粧PBt=9.0撤去	屋上マンホール、タラップ
		モルタル金ごて下地 既設のまま				

※アスベスト含有建材を示す。 ・車路及び駐車場の下地アスファルト舗装撤去箇所について、 施工前に下地劣化状況調査を行い、報告書を作成して提出すること。・駐車場の既存床塗膜の浮き等については、湿潤養生の上、手ばらし等による撤去を行うこと。(10㎡程度) 11, 600 9, 600 9, 600 11, 600 5, 200 6, 400 車止めW150L=4680撤去 機械室 車止めW150L=9035撤去 車止めW150L=9035撤去 駐車場 駐車場 床:マスチック塗※既設のまま 586 下地アスファルト舗装既設のまま 4 床:マスチック塗※既設のままー 下地アスファルト舗装既設のまま - 車止めW150L=1510撤去 排水溝蓋鋼製グレーチングW450 (T-14)L=7550 撤去 駐車場 D -ルーフドレン 車路 325 コーナー部床:マスチック塗※撤去 直線部床:マスチック塗※撤去 下地アスファルド舗装t=40共 下地アスファルト舗装既設のまま 駐車場 ファン室 B 丸柱900φ∶AP塗-□丸柱900φ:AP塗 床:マスチック塗※既設のまま 下地アスファルト舗装既設のまま 車止めW150L=14030撤去 ファン室  $\mathbf{M}$ 02 △壁芯 - 床: ビニル床タイルt=2.0 ※撤去 └─├──床:ビニル床タイルt=2.0※撤去 2, 500 2, 350 | 1, 050 | 1, 400 | 140 2, 450 M : 鋼製マンホール600 φ 6,800 7, 200 4, 800 7, 200 6, 800 4, 800 C : カーブミラー 600 φ 撤去 : 工事範囲外を示す 1 2 3 7 8 9 コーナー部床: マスチック塗※撤去 カッター入れの上、下地アスファルト舗装t=40撤去 直線部床: マスチック塗※撤去 下地アスファルト舗装既設のまま B2階平面図 S=1:100 駐車場・歩行者通路床∶マスチック塗※既設のまま □□□ : 駐車番号※撤去

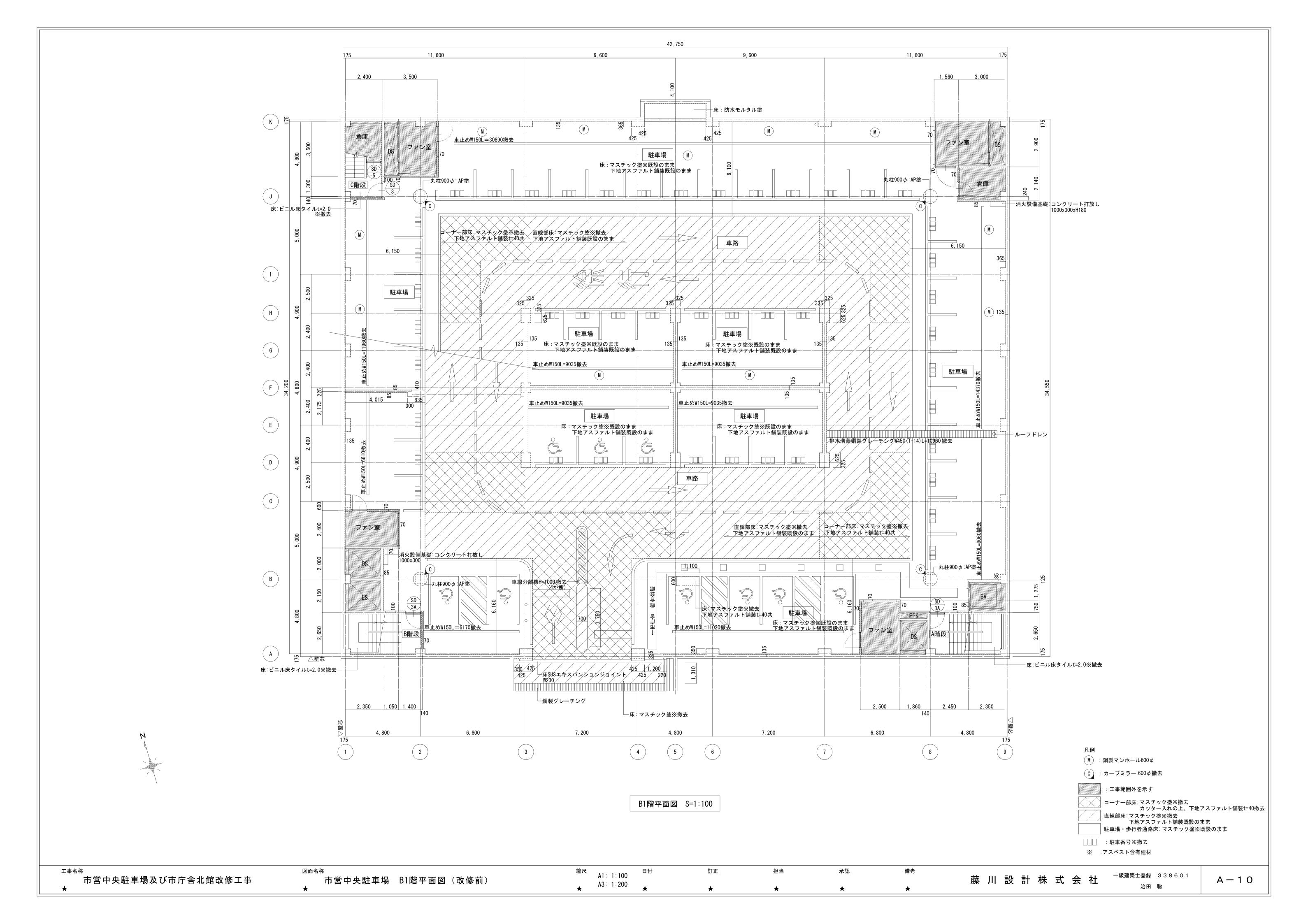
加什 L 幸 /76.66公丶						
部仕上表 (改修後) 						
室名 字	床	巾木	壁 	天井	備考	
<u> 駐車場</u>	水性型無機系床塗料塗替え	水性型無機系床塗料H=60塗替え	コンクリート打放し一部吹付タイル※、二丁掛けタイル 既設のまま	パーライト吹付※(梁:コンクリート打放し一部吹付タイル※) 既設のまま	排水溝蓋:鋼製グレーチングW450 (T-14)、カーブミラー 新設	
<b>= □</b> 6	下地アスファルト舗装 既設のまま	下地コンクリート 既設のまま	既設のまま	B1階一部:けい酸カルシウム板t=6.0 外装薄塗材E 新設(LGS下地共)	車止めブロックL=600新設、硬質床用ライン引き新設	
車路(直線部)	無機系速硬防滑薄塗床材塗替え	無機系速硬防滑薄塗床材塗替え(トップコート)	コンクリート打放し 既設のまま	パーライト吹付※ 既設のまま	排水溝蓋:鋼製グレーチングW450(T-14) 新設、硬質床用ライン引き新設	
市場 (一、土、如笠)	下地アスファルト舗装既設のまま(一部速乾高強度下無機では原味等等に共発する			梁:コンクリート打放し既設のまま		
単路(コーナー部等)	無機系速硬防滑薄塗床材塗替え	無機系速硬防滑薄塗床材塗替え(トップコート)	コンクリート打放し 既設のまま	パーライト吹付※ 既設のまま	│ 硬質床用ライン引き新設 	
<b>ルディア</b>	速乾高強度下地調整材t=40新設	下地コンクリート 既設のまま	구바웨화 A L FD C☆+キ ニ	梁:コンクリート打放し既設のまま	会を表していません。 COD 全共 こ	
階段室A, B, C	ビニル床シートt=2.0新設 	下地調整の上、EP-G H=60塗替え	下地調整の上、EP-G塗替え	下地調整の上、EP-G塗替え	鋼製手摺:下地調整の上、SOP塗替え  	
, ë u ¬ -	ポリマーセメント下地処理			カニ マルこパクル+-1 5 声取 <i>仕</i>	樹脂笠木34 φ アルミ手摺:既設のまま	
バルコニー	ポリマーセメントペースト+ウレタン塗膜防水(X-2)新		コンクリート打放し一部吹付タイル※ 既設のまま 	カラーアルミパネルt=1.5 再取付	中継ドレン75 ¢ 用 新設	
k	下地コンクリート金ごて押え 既設のまま 無機系速硬防滑薄塗床材塗替え	下地コンクリート 既設のまま	- T#14.5 / u m=0.0.++	LGS下地 既設のまま	銅製改修用ドレン75¢用新設 アルミキャップ共	
指 進入路		(立上り) コンクリート打放し 既設のまま	ニ丁掛けタイル 既設のまま	パーライト吹付※ 既設のまま	ゲート用基礎 既設のまま	
担地中	速乾高強度下地調整材新設	ビニル巾木H=75 一部新設	丸柱 φ 1050 既設のまま	梁:コンクリート打放し 既設のまま	管理用ブース 既設のまま	
湯沸室	ビニル床タイルt=2.0 一部新設 		コンクリート下地モルタルVP塗 既設のまま	LGS下地化粧PBt=9.0 既設のまま	ステンレス流し新設	
-t- 7tt- 177	土間コンクリート、モルタル下地 一部新設		LGS下地けい酸カルシウム板t=8.0の上、陶器質タイル100角 既設のまま		吊戸棚、ステンレス水切棚:既設のまま	
事務室便所	ビニル床シートt=2.0 (防汚、防滑) 新設	ステンレス巾木H=60新設	│ 化粧けい酸カルシウム板t=6.0新設 	けい酸カルシウム板t=6.0EP−G塗 新設		
	土間コンクリート、モルタル下地新設			LGS下地 新設		
男子便所	磁器質タイル 50角(モルタル下地共)新設	磁器質タイル50角H=50新設 	化粧けい酸カルシウム板t=6.0新設 	けい酸カルシウム板t=6.0 EP-G塗 新設	トイレブース新設 	
	アスファルト防水下地 既設のまま			LGS下地 新設		
女子便所	磁器質タイル50角(モルタル下地共)新設	磁器質タイル50角H=50新設	化粧けい酸カルシウム板t=6.0新設	LGS下地けい酸カルシウム板t=6.0 EP-G塗 新設	トイレブース新設	
	アスファルト防水下地 既設のまま			梁:EP-G塗替え		
多目的便所	ビニル床シートt=2.0 (防汚、防滑) 新設	ステンレス巾木H=60新設	化粧けい酸カルシウム板t=6.0新設	LGS下地けい酸カルシウム板t=6.0 EP-G塗 新設		·
	アスファルト防水下地 既設のまま			梁:EP-G塗替え		
便所前室	水性型無機系床塗料塗替え		二丁掛タイル 既設のまま	LGS下地けい酸カルシウム板t=6.0EP-G塗 新設		
	下地アスファルト舗装 既設のまま		下地コンクリート 既設のまま	梁:EP-G塗替え		
皆 EVホール	ビニル床シートt=2.0 新設	下地調整の上、EP-G H=60塗替え	下地調整の上、EP-G塗替え	化粧PBt=9.5 新設	屋上マンホール、タラップ 既設のまま	
	モルタル金ごて下地 既設のまま			LGS下地 新設		
するドレンキャップについては 防止対策を講じること。	ることとし、施工後、最小天井高を報告すること。 はSUSワイヤー等にてドレンキャップを繋ぎ、 納めとする。(面台部はシーリング処理 SR-1 5mm) F  D  C  OOG 61	7 000 9 000 7 7 000 9 000 9 7 000 9 000	135	駐車場 160 160 排水溝蓋鋼製グレー(1-14) 325 325 325 325 カーナー部床: 速乾高強度下地塗替え の上、無機系速硬防滑薄塗床材	機械室 008 7 70	
	B A	2000 7   2000 0	駐車場床:水性型料	規模系床塗料塗替え のの タ:70 対	70 3A 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	−ル600φ 既設のまま – ステンレス600x450 2
		1	3 5	6	8       9       : 工事範囲を         3       コーナー部別	外を示す 床:速乾高強度下地調整枠 無機系速硬防滑薄塗原 乗機系速硬防滑薄塗床材料

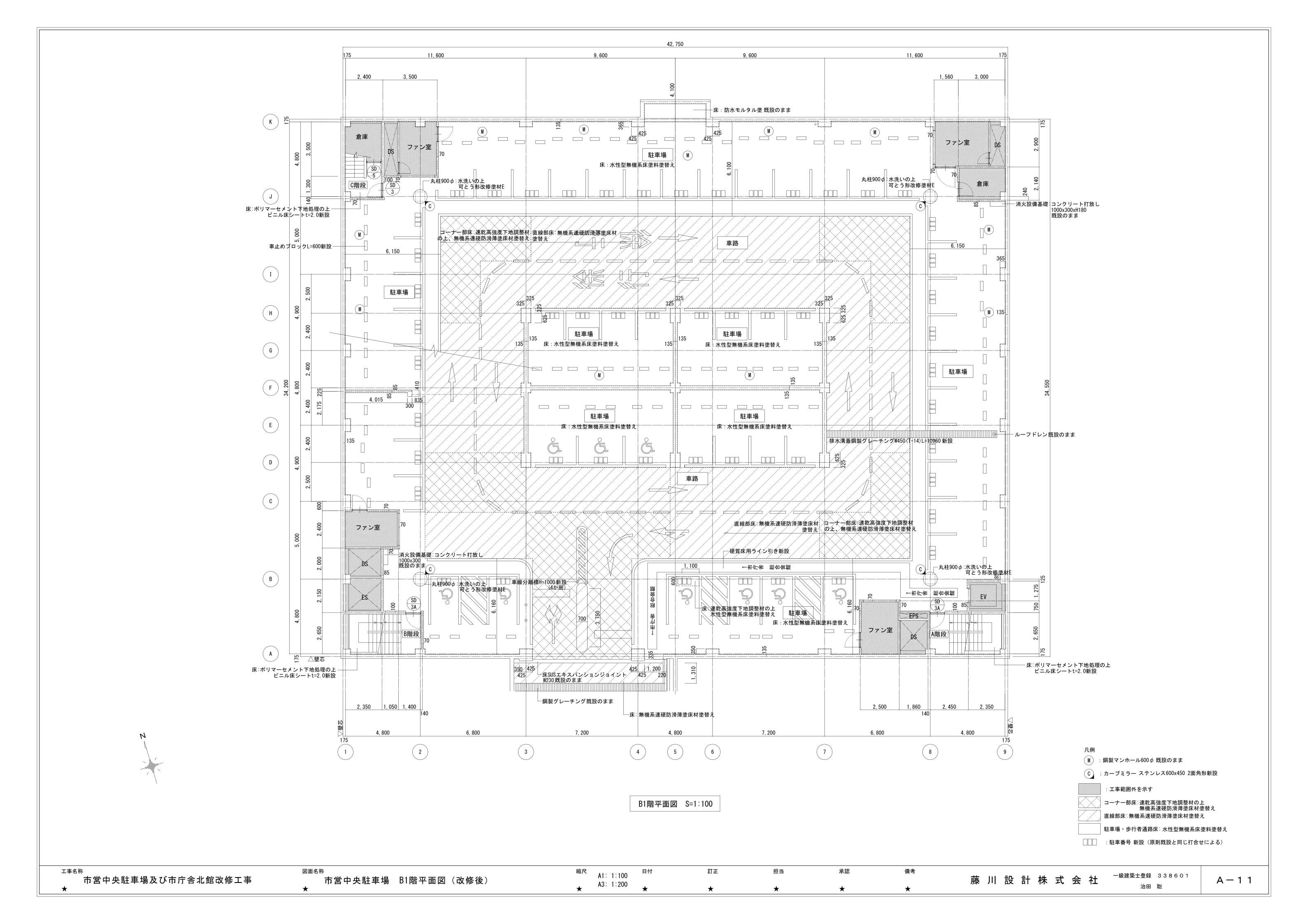
縮尺 A1: 1:100 日付 ★ A3: 1:200 ★ 承認 市営中央駐車場 仕上表・B2階平面図(改修後) ★\_\_ 備考 一級建築士登録 338601 市営中央駐車場及び市庁舎北館改修工事 藤川設計株式会社 A - 09治田 聡

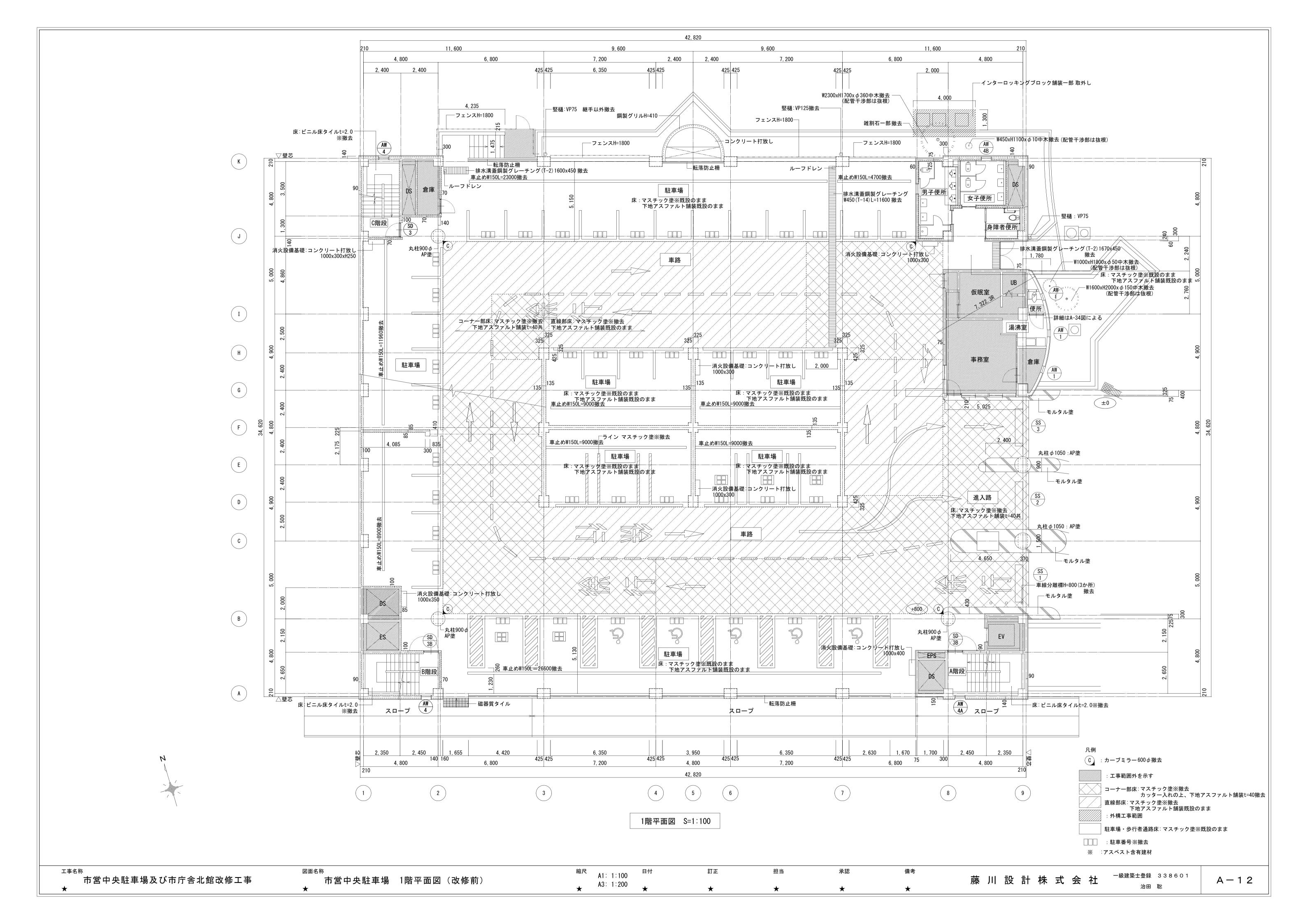
B2階平面図 S=1:100

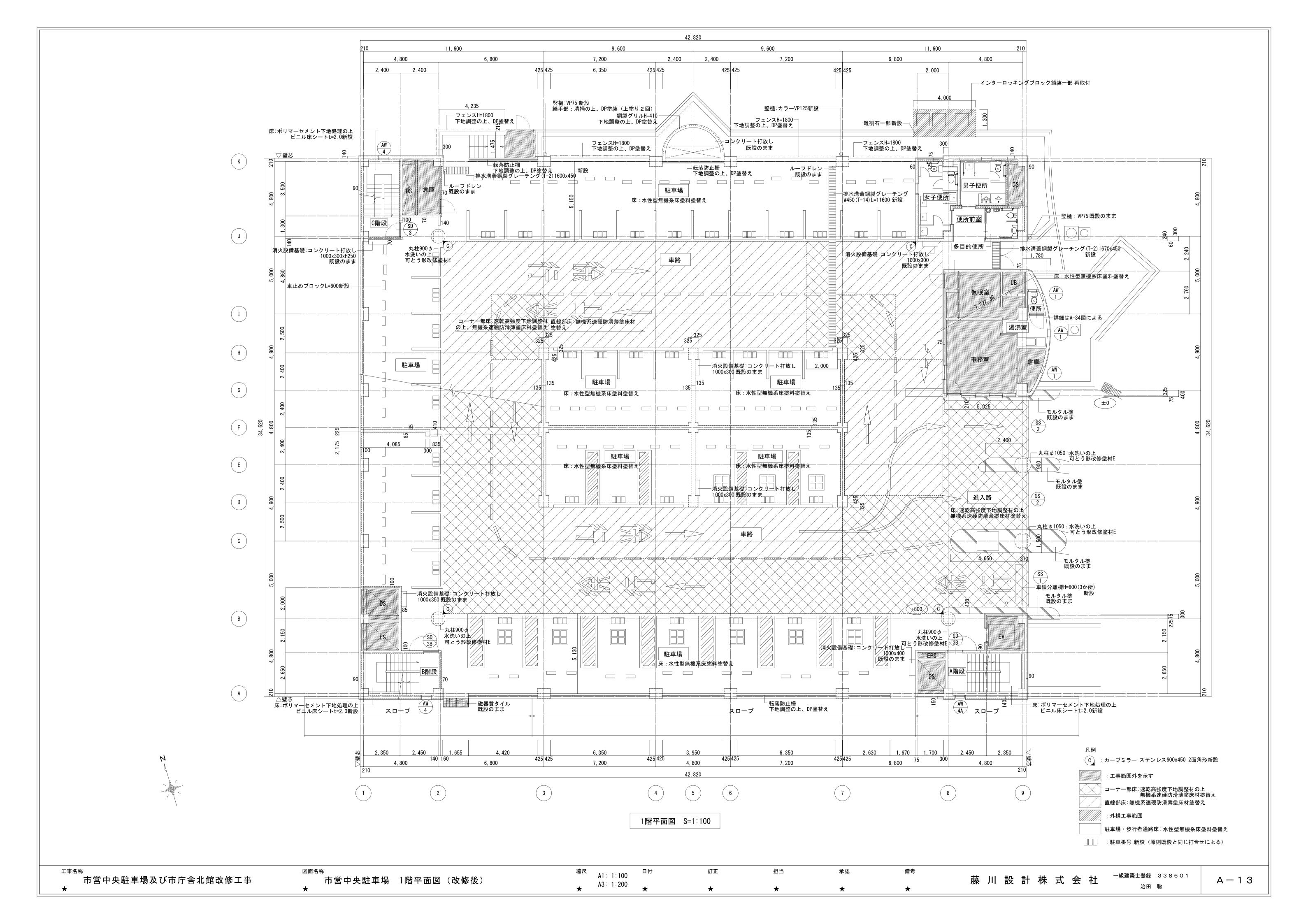
□□□ : 駐車番号 新設(原則既設と同じ打合せによる)

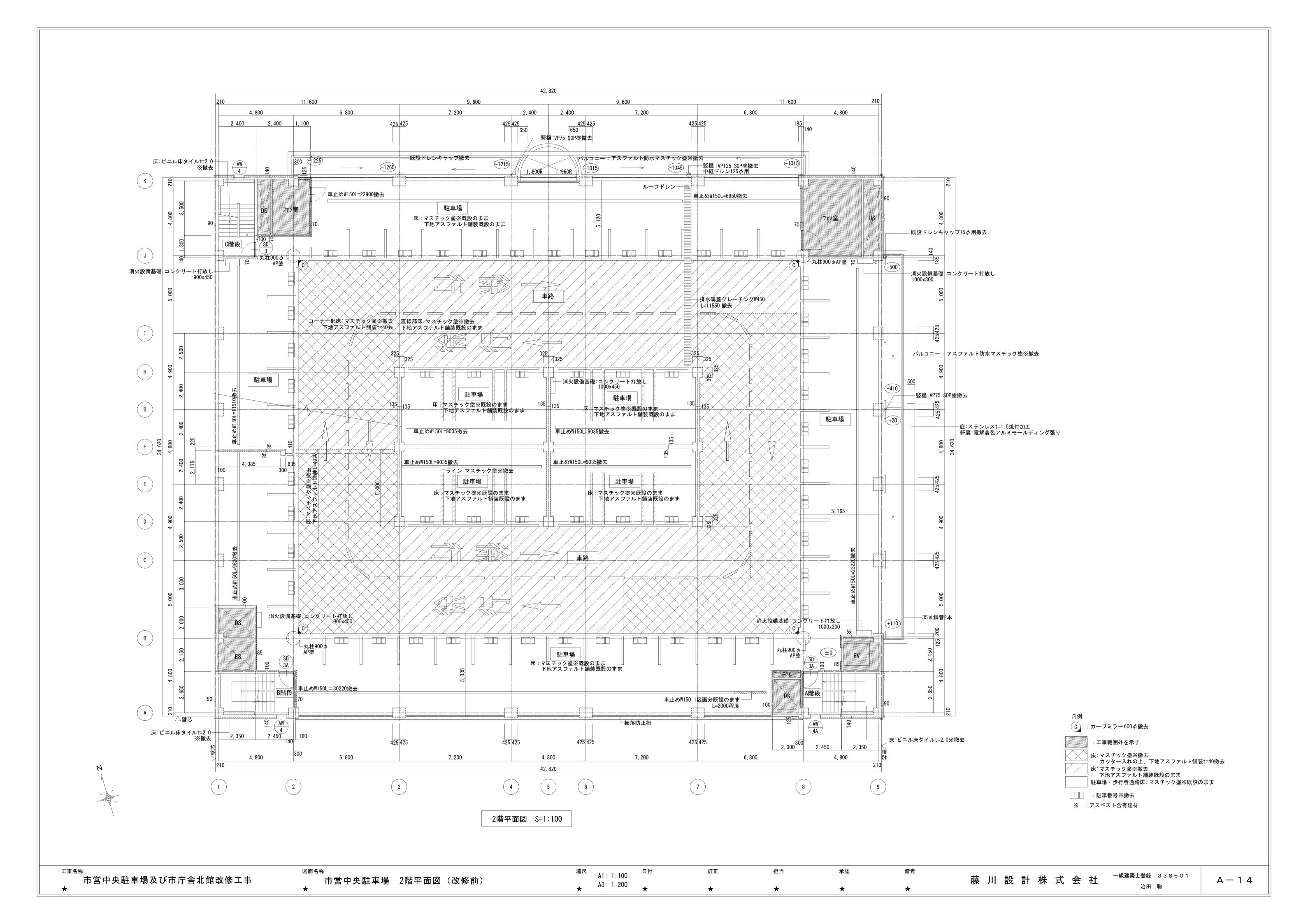
駐車場・歩行者通路床:水性型無機系床塗料塗替え

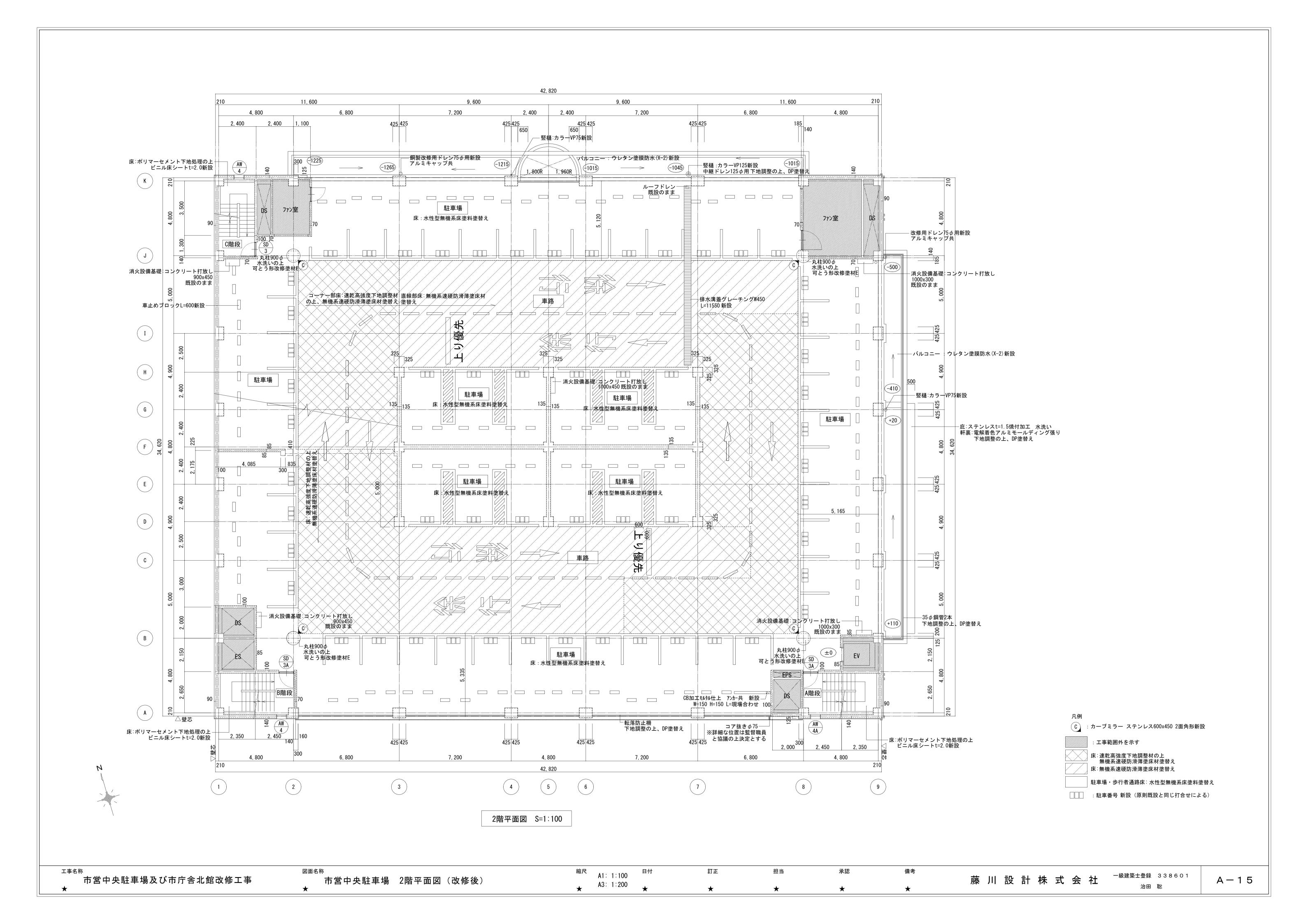


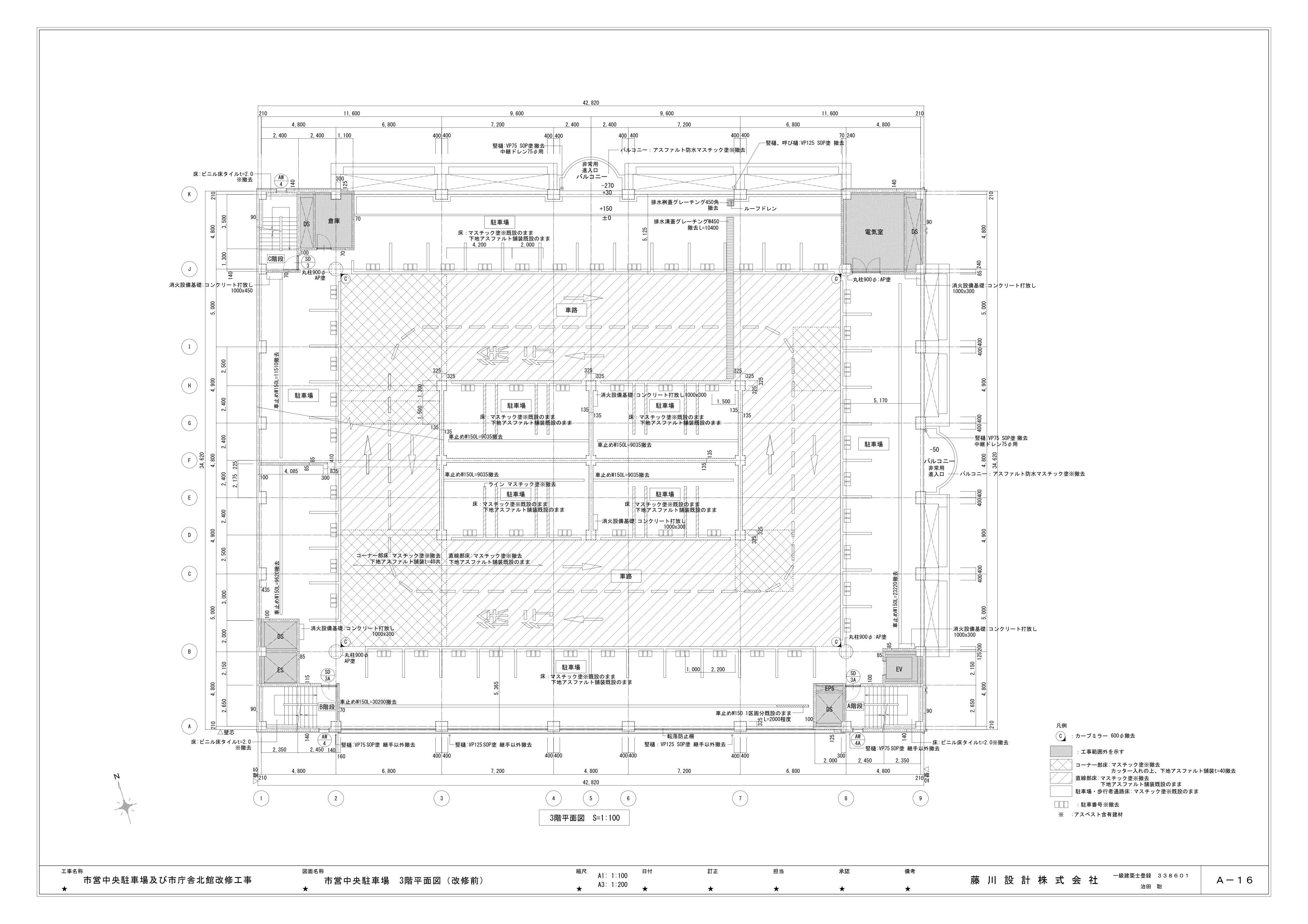


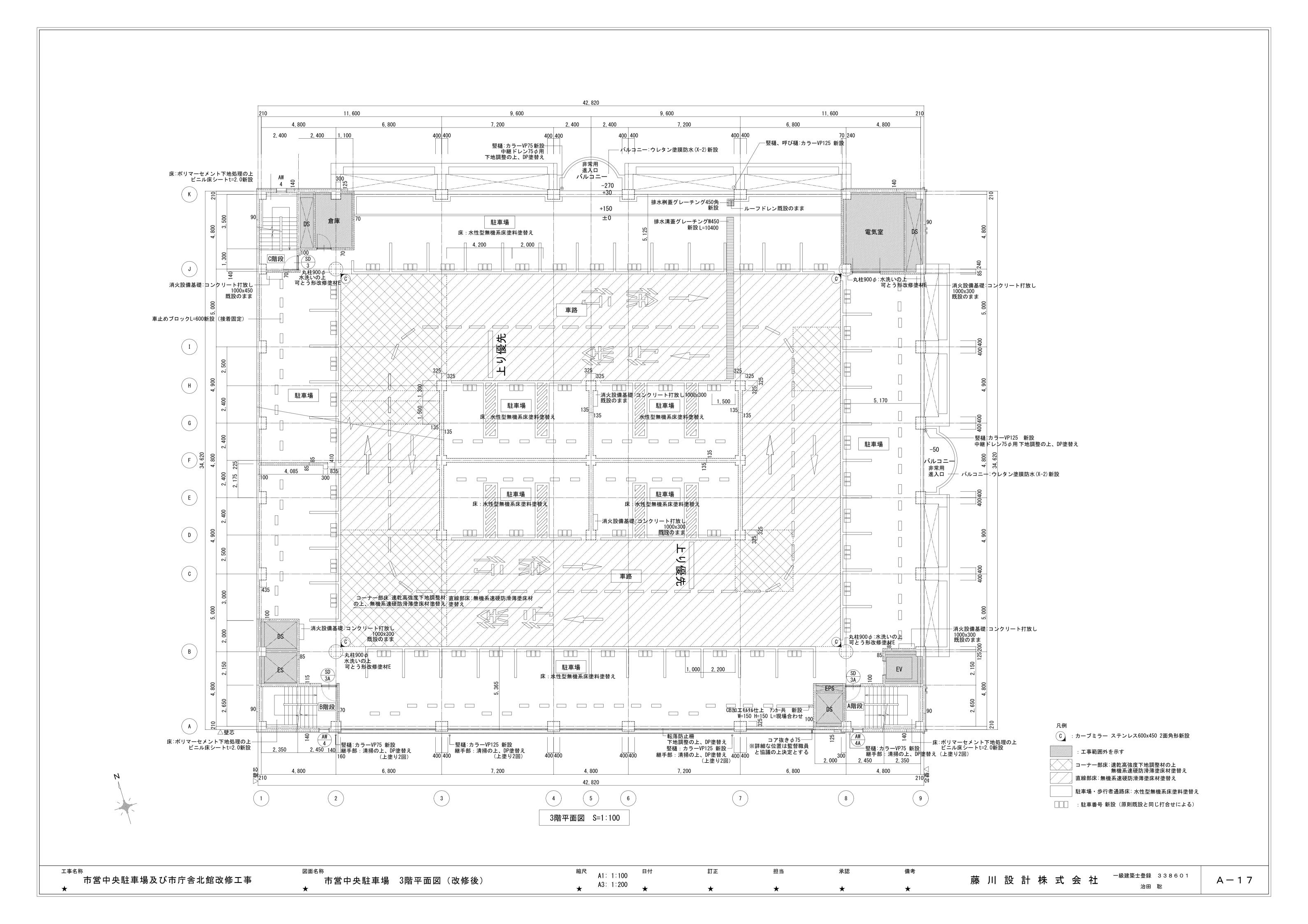


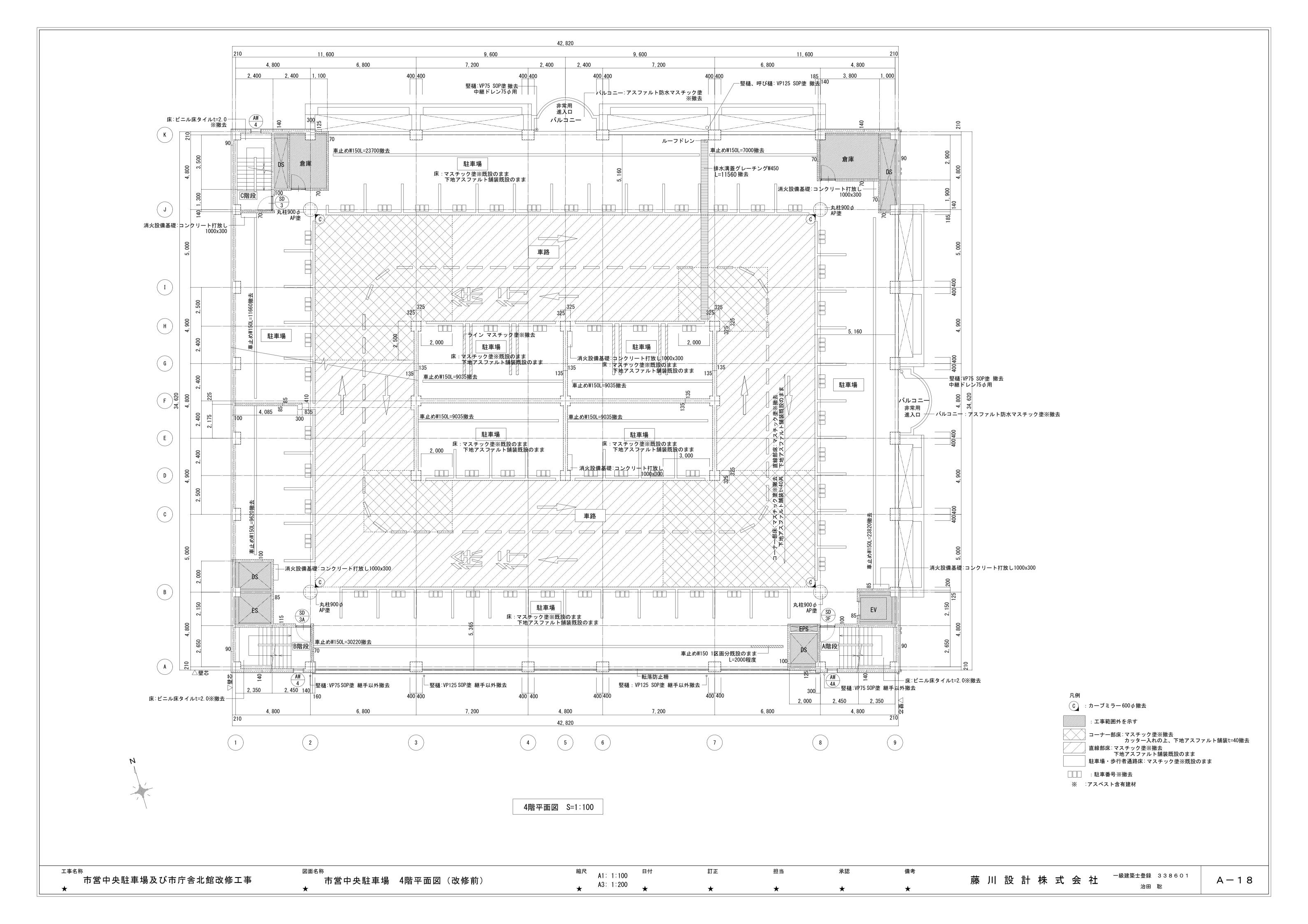


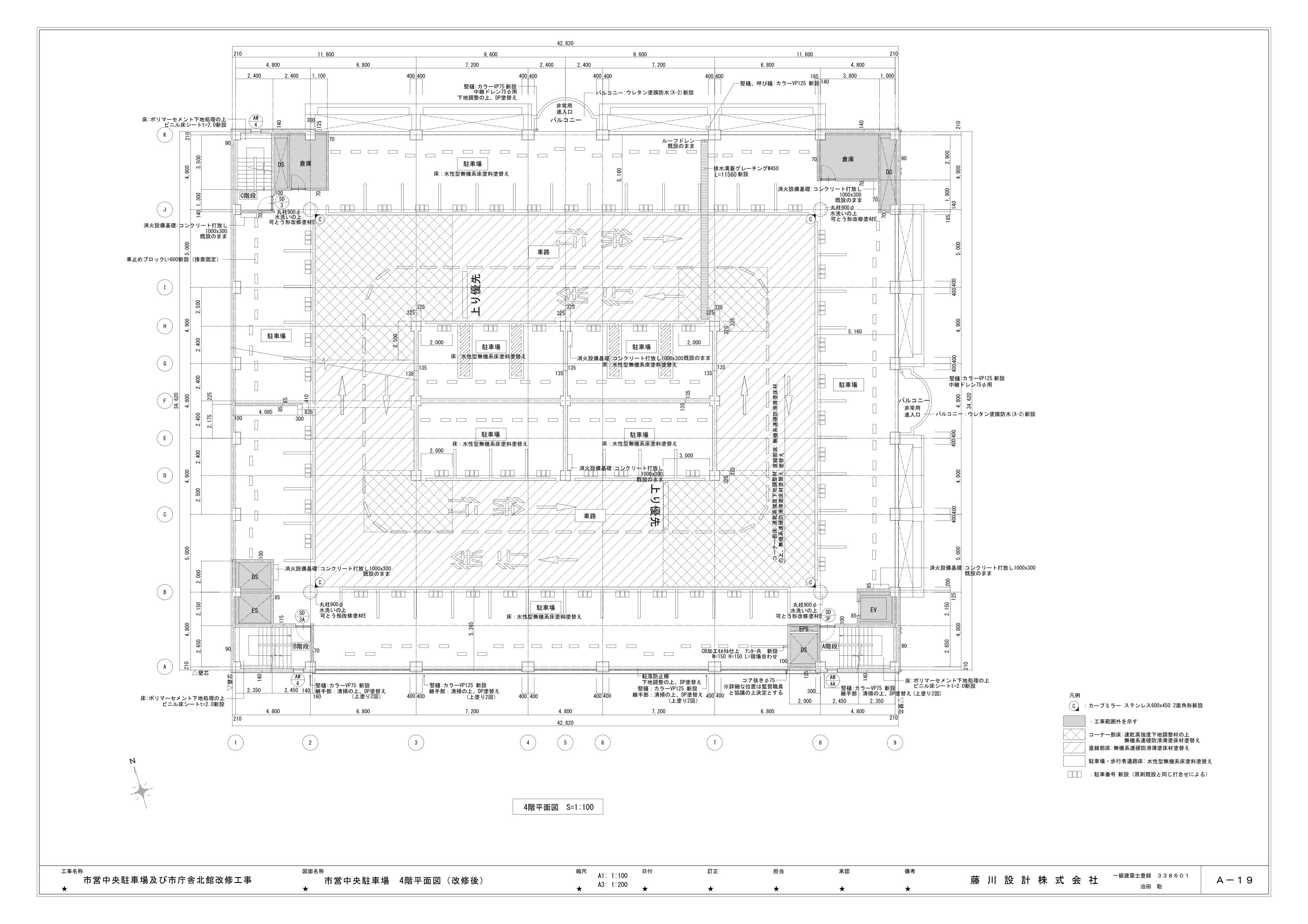


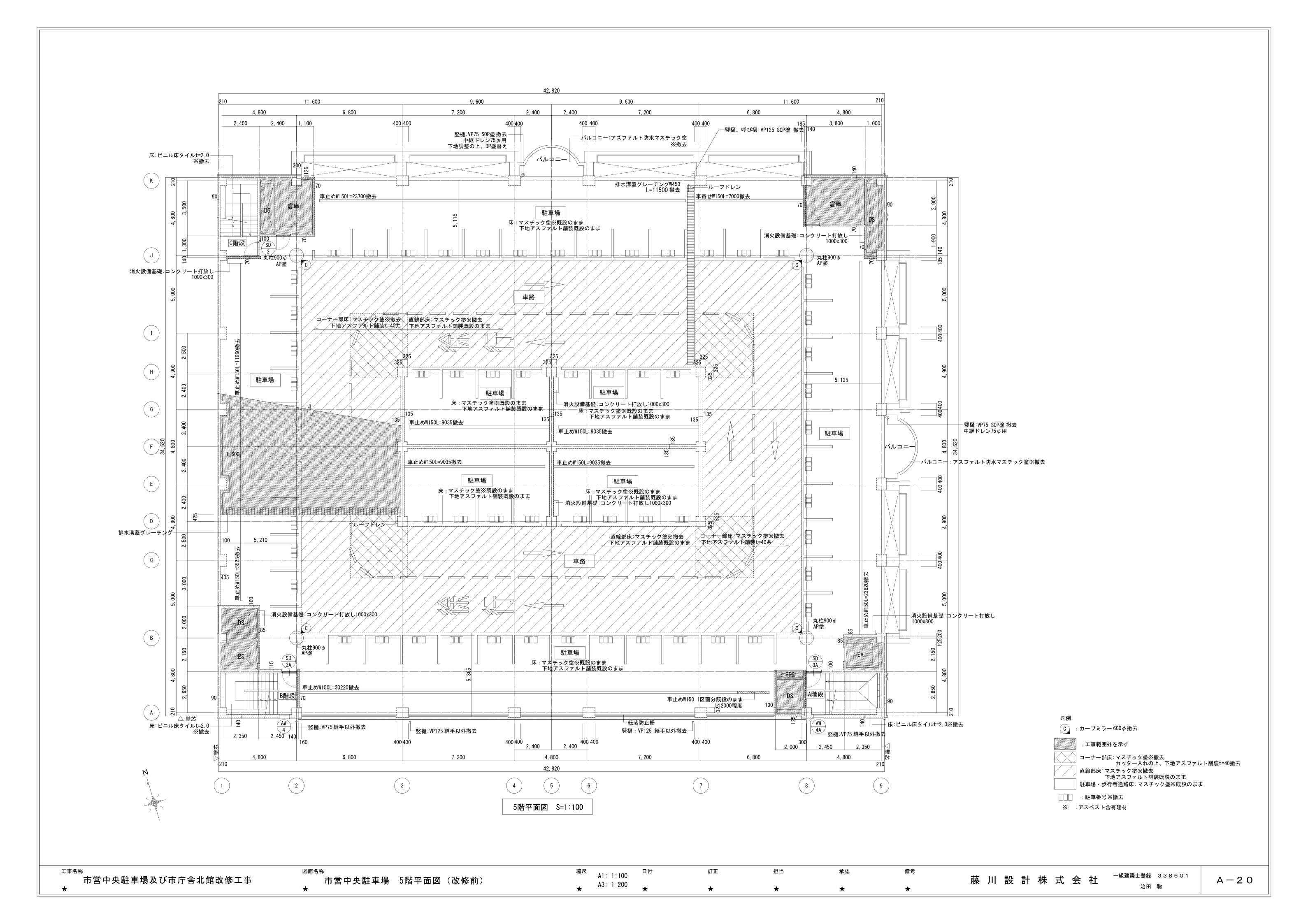


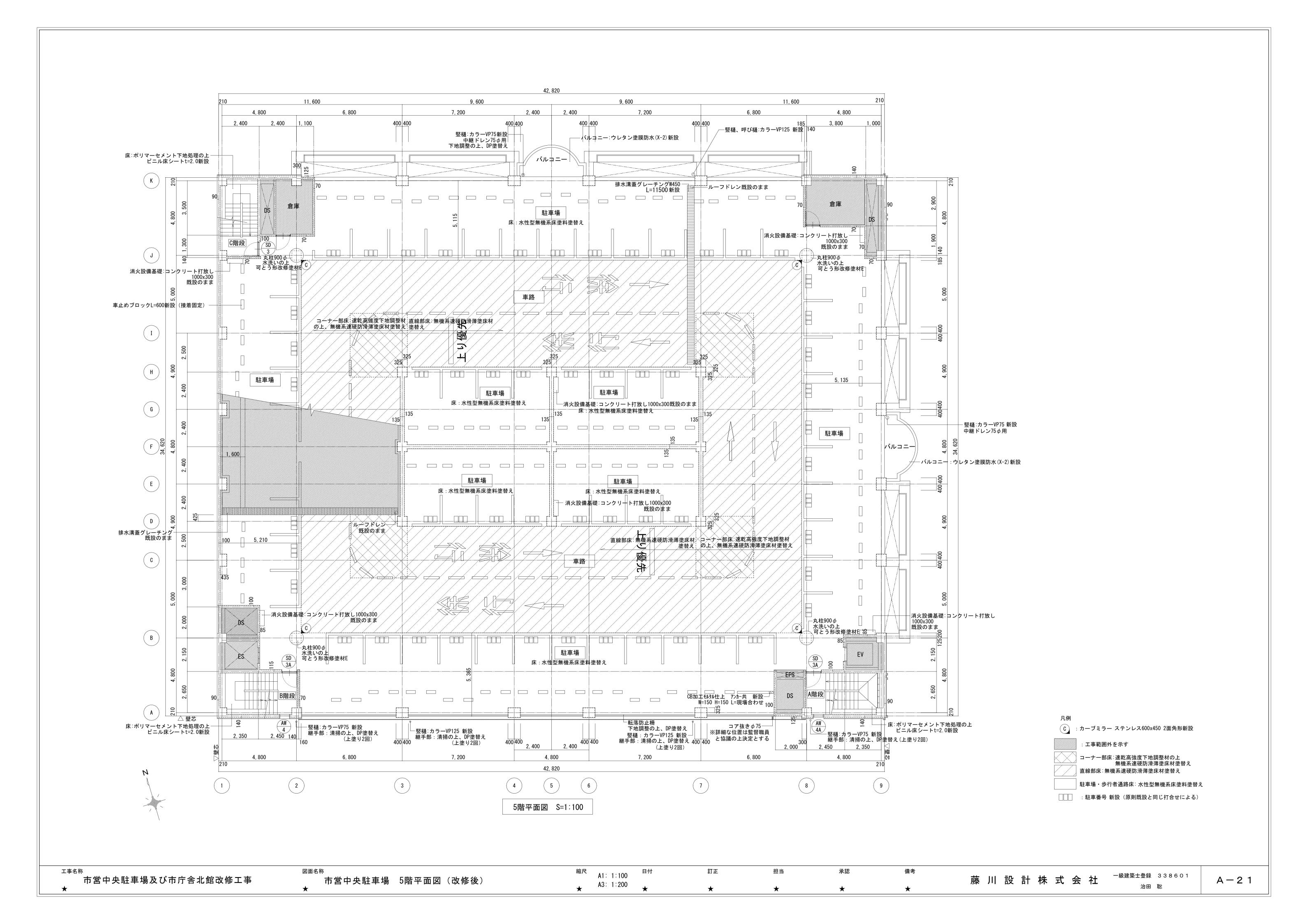


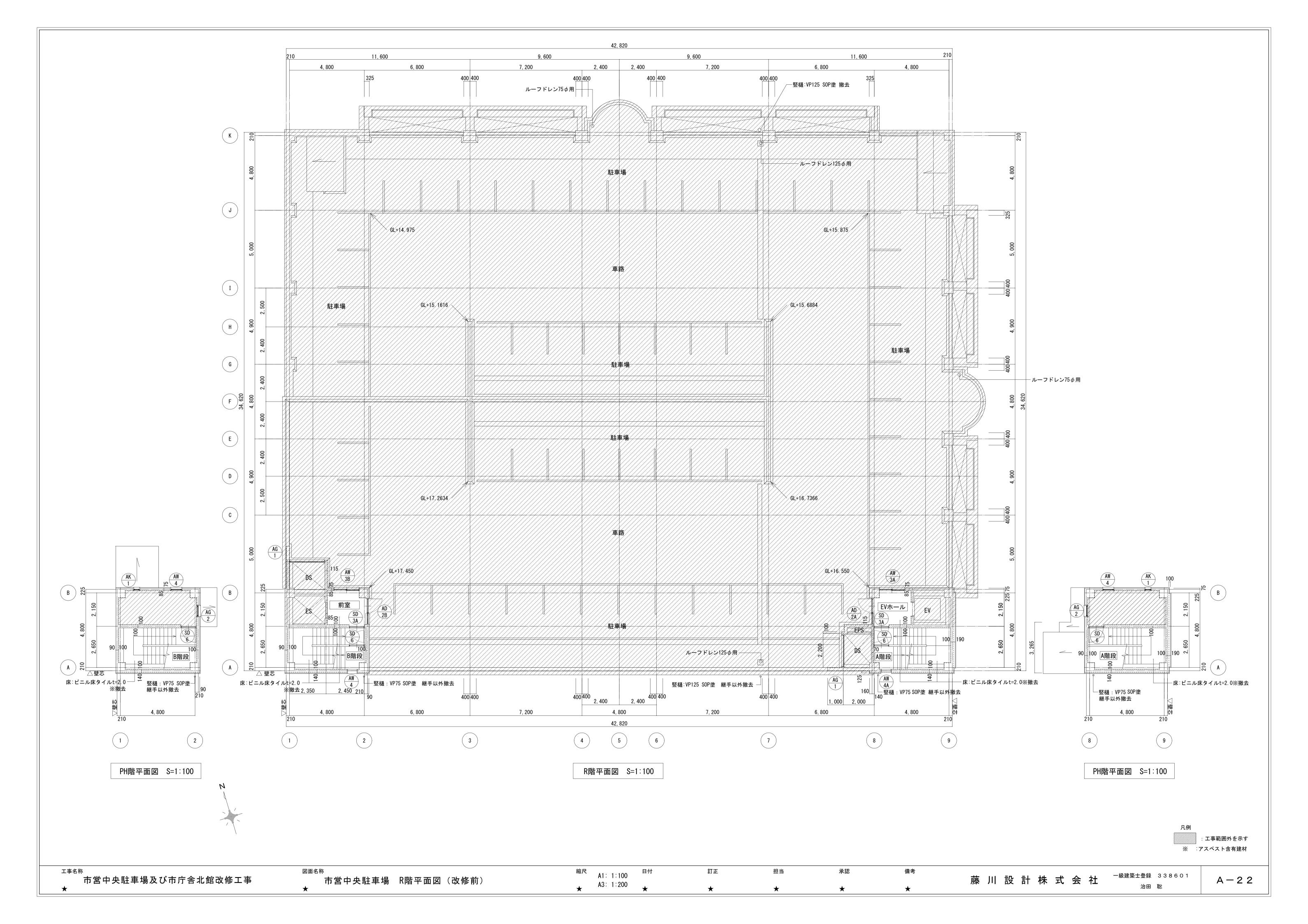


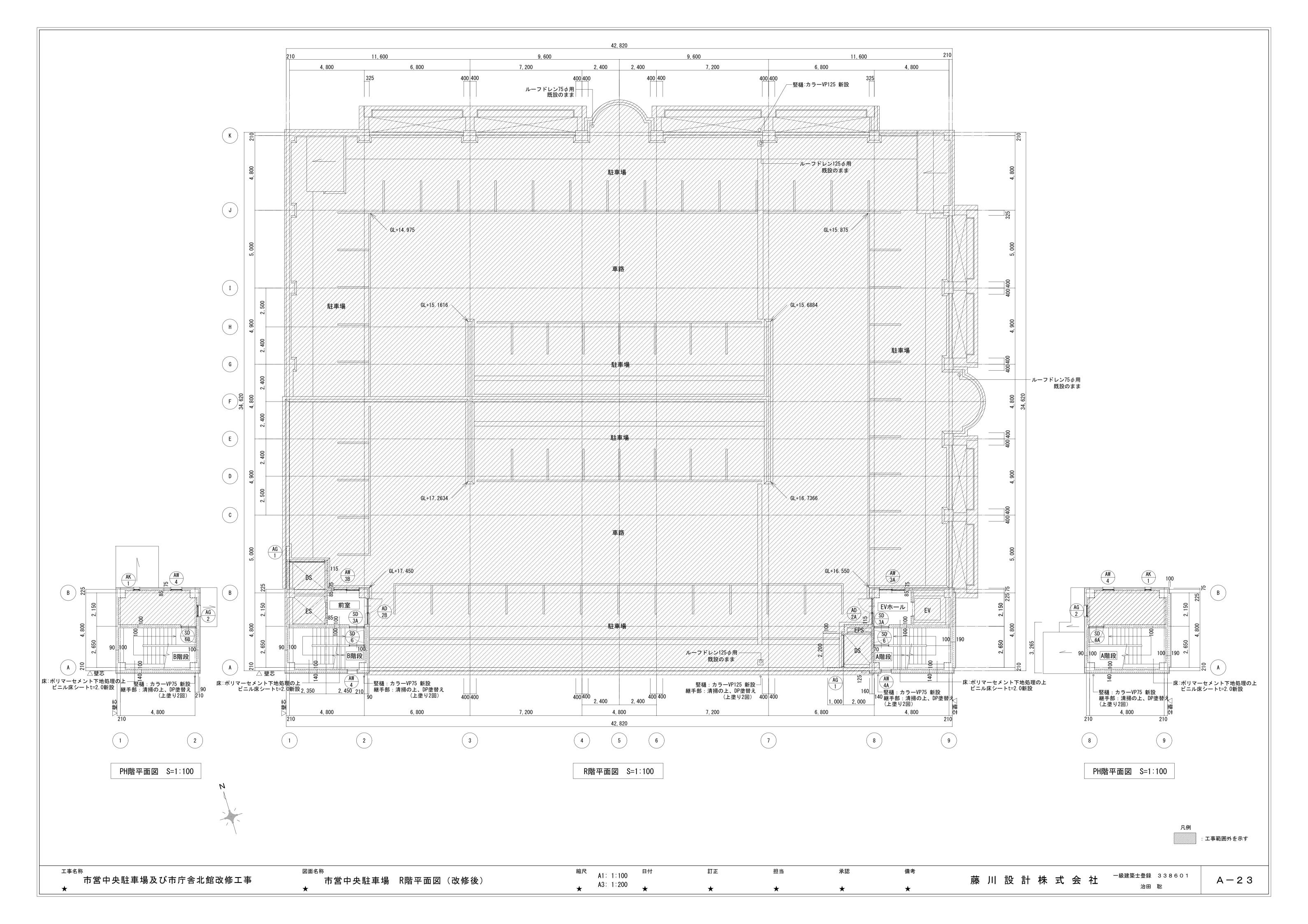




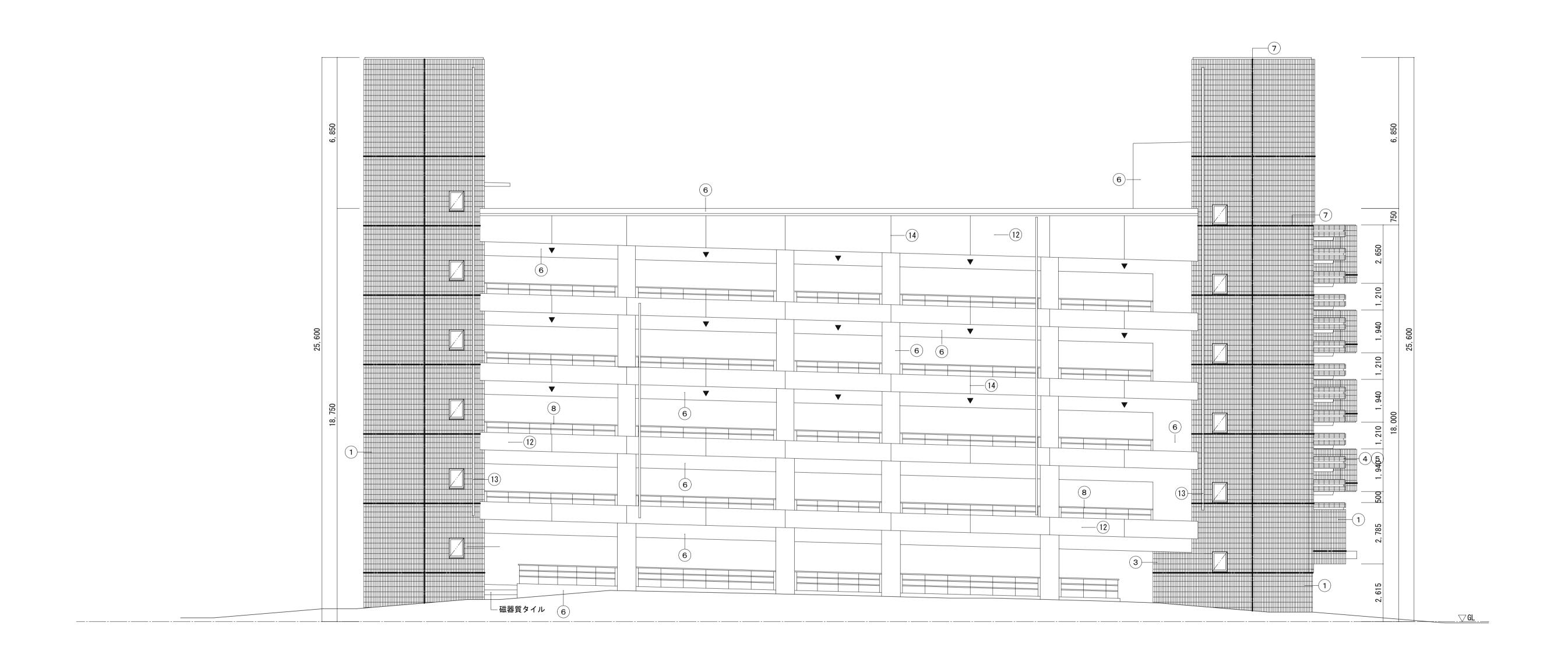








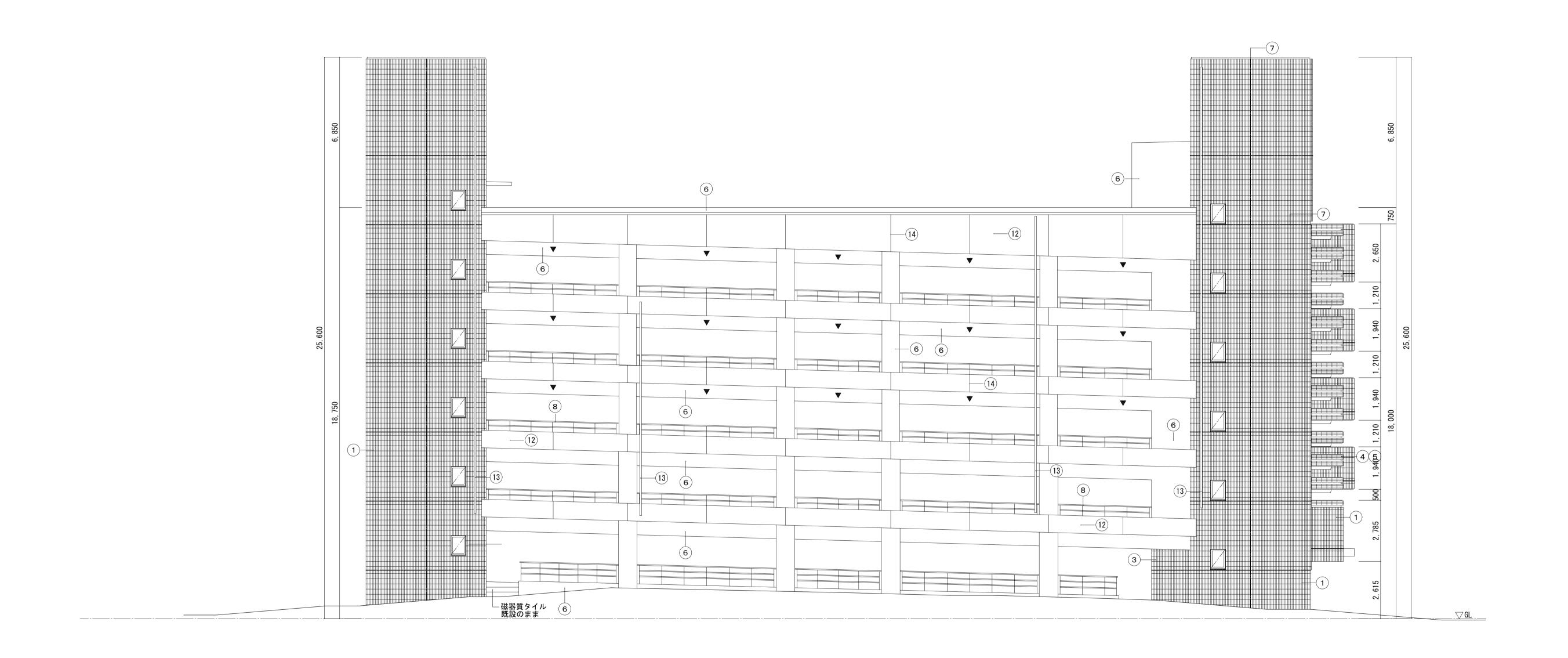
外部仕上表		
1 二丁掛タイル貼 a(リブ付)	9	9 飾り目地シーリングPS-2 20x10 撤去 、タイル役物 ▼ 進入口用三角マーク 撤去
② 二丁掛タイル貼 b (曲面)	10	10 庇 ステンレス製
3 二丁掛タイル貼 c (平板)	11)	11   サイン ステンレス製
4 二丁掛タイル貼 a・c模様	(12)	12   特殊型枠コンクリート打放し
5 P C版ルーバー: コンクリート打放し	(13)	13 竪樋: VP75、VP125 継手以外撤去
6 合板型枠コンクリート打放し	14	14 化粧目地
7 伸縮目地シーリングPS-2 (特記外20 x 10)撤去	15	①5 ウレタン塗膜防水 (X−2)
8 手摺 鋼製 F P	(16)	(16) コンクリート打放し AP塗



南 立面図

川 市営中央駐車場及び市庁舎北館改修工事 市営中央駐車場 立面図(1)(改修前) ★ A3: 1:200 ★ A3: 1:20	工事名称	図面名称	縮尺 A1: 1:100 日付	訂正	担当	承認	備考	→
	市営中央駐車場及び市庁舎北館改修工事★	市営中央駐車場 立面図(1)(改修前) ★	Δ ( Ι ( 200)	*	*	*	*	

外部仕上表	
1 二丁掛タイル貼 a(リブ付) 水洗い	9 飾り目地シーリングPS-2 20x10 新設 、タイル役物 水洗い ▼ 進入口用三角マーク 新設
② 二丁掛タイル貼 b (曲面) 水洗い	(10) 庇 ステンレス製 既設のまま
3 二丁掛タイル貼 c (平板) 水洗い	(11) サイン ステンレス製 既設のまま
4 二丁掛タイル貼 a・c模様 水洗い	12 特殊型枠コンクリート打放し 水洗いの上、撥水剤塗替え
5 PC版ルーバー:コンクリート打放し 水洗いの上、撥水剤塗替え	①3 竪樋: VP75、VP125 新設(掴み金物共) 継手部:清掃の上、DP塗替え(上塗り2回)
6 合板型枠コンクリート打放し 水洗いの上、撥水剤塗替え	14   化粧目地 既設のまま
7 伸縮目地シーリングPS-2 (特記外20 x 10)新設	<ul><li>(15) ウレタン塗膜防水 (X-2) 既設のまま</li></ul>
8 手摺 鋼製 F P 下地調整の上、DP塗替え	16 水洗いの上、可とう形改修塗材E



南立面図

1. 特記なき外壁仕上げは水洗いとする。

2. タイル浮き部分は、アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法とする。

3. タイル割れ部分は、カッタ一入れの上、撤去・新設とする。

4. ひび割れ幅0. 2~1. 0mmは、自動式低圧樹脂注入工法とする。

5. コンクリート、モルタル欠損部分は、エポキシ樹脂モルタル充填工法とする。

6. 鋼製既設電気盤、設備配管類は、清掃の上、DP塗(2回塗り)とする。

7. ステンレス設備ボックス、支持金物、換気フード等は、水洗いとする。

8.20 φ 以上の樹脂製設備配管、樹脂製設備ボックス、支持金物、換気フード等は、清掃の上、DP塗(下塗り無し)とする。

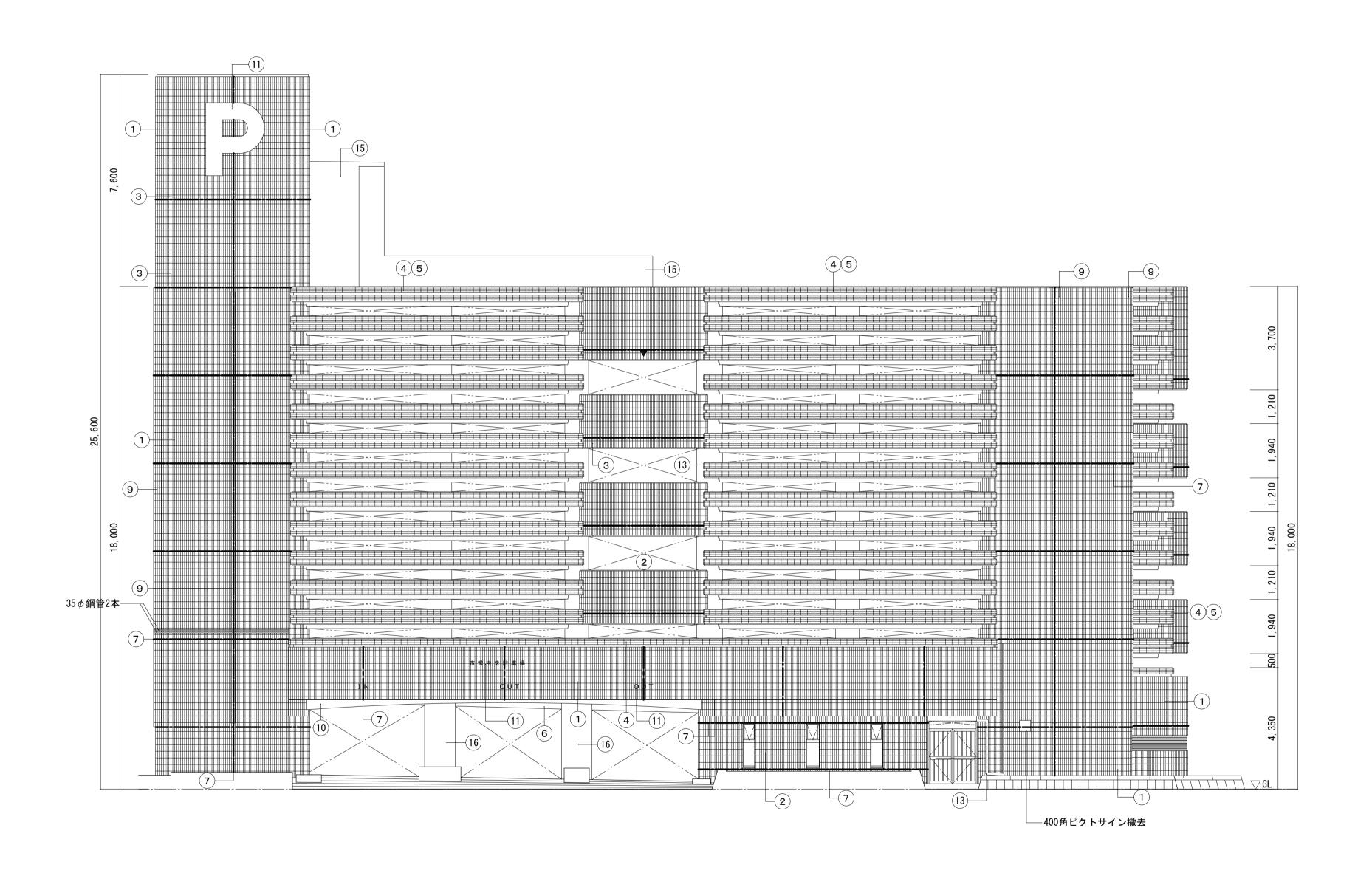
9. 20 Ø 以上の鋼製設備配管、鋼製設備ボックス、支持金物、換気フード等は、下地調整の上、DP塗(亜鉛めっき面程度)とする。

10. ステンレス、アルミ配管、監視カメラ等は、養生を行うこと。

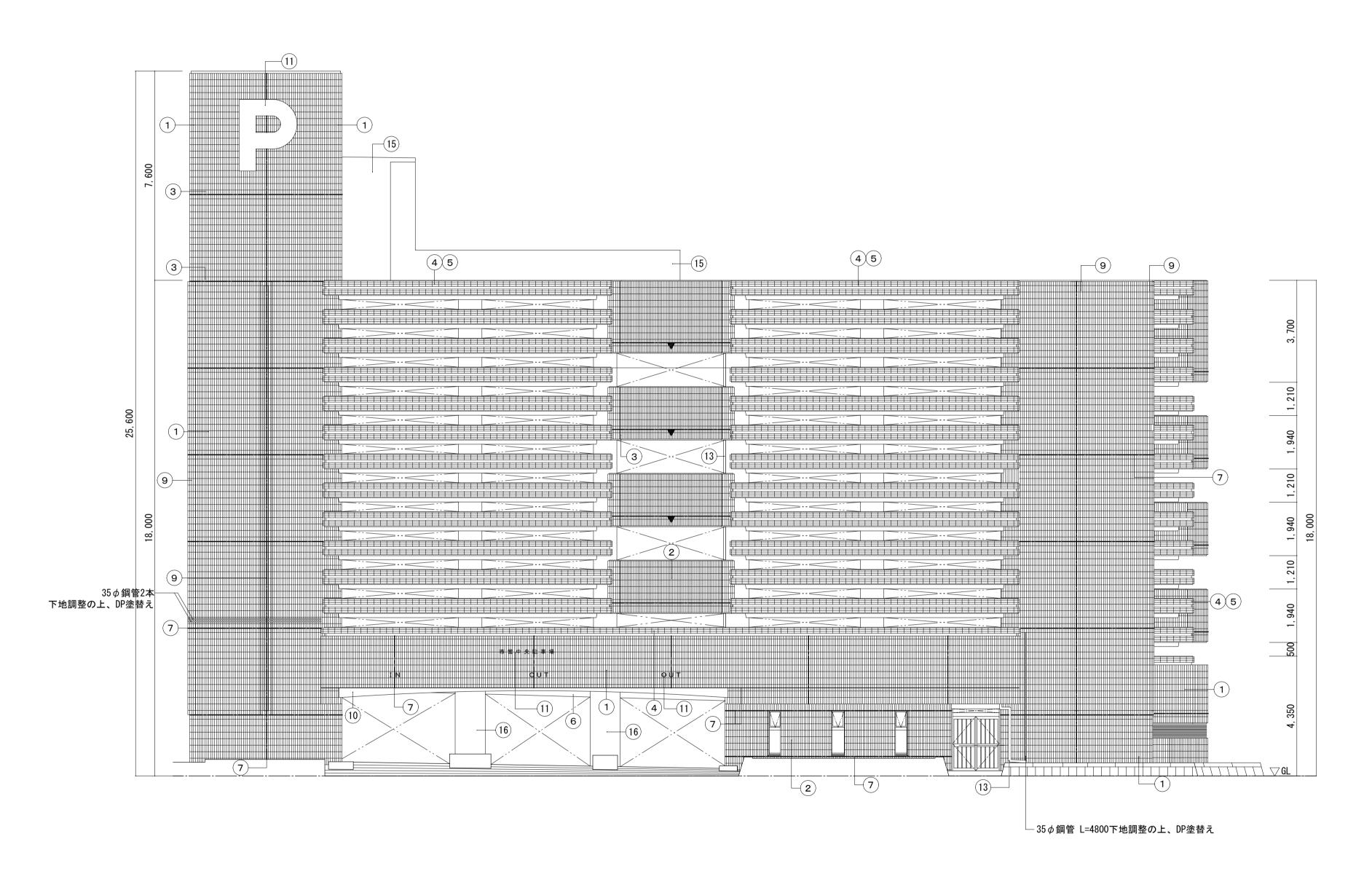
11. 外壁を貫通している配管周囲、設備機器周囲は、全てシーリング(MS-2)撤去・新設とする。

12. 設備機器裏面は、塗装出来る範囲まで施工すること。

外部仕上表		
1 二丁掛タイル貼 a (リブ付)	9	9 飾り目地シーリングPS-2 20x10 撤去 、タイル役物 ▼ 進入口用三角マーク 撤去
② 二丁掛タイル貼 b (曲面)	10	10
3 二丁掛タイル貼 c (平板)	11)	11 サイン ステンレス製
4 二丁掛タイル貼 a・c 模様	12	12   特殊型枠コンクリート打放し
5 P C 版ルーバー: コンクリート打放し	13	13 竪樋: VP75、VP125 継手以外撤去
6 合板型枠コンクリート打放し	14)	14 化粧目地
7 伸縮目地シーリングPS-2 (特記外20 x 10)撤去	(15)	① ウレタン塗膜防水 (X-2)
8 手摺 鋼製 F P	16	16 コンクリート打放し AP塗



外部仕上表		
1 二丁掛タイル貼 a (リブ付) 水洗い	9	飾り目地シーリングPS-2 20x10 新設 、タイル役物 水洗い ▼ 進入口用三角マーク 新設
② 二丁掛タイル貼 b (曲面) 水洗い	10	庇 ステンレス製 水洗い
3 二丁掛タイル貼 c (平板) 水洗い	11)	サイン ステンレス製 既設のまま
4 二丁掛タイル貼 a・c模様 水洗い	(12)	特殊型枠コンクリート打放し 水洗いの上、撥水剤塗替え
5 PC版ルーバー:コンクリート打放し水洗いの上、撥水剤塗替え	(13)	竪樋:VP75、VP125 新設(掴み金物共) 継ぎ手部:清掃の上、DP塗替え(上塗り2回)
6 合板型枠コンクリート打放し 水洗いの上、撥水剤塗替え	14)	化粧目地 既設のまま
7 伸縮目地シーリングPS-2 (特記外20 x 10)新設	(15)	ウレタン塗膜防水(X−2) 既設のまま
8 手摺 鋼製 F P 下地調整の上、DP塗替え	16	水洗いの上、可とう形改修塗材E



東立面図

1. 特記なき外壁仕上げは水洗いとする。

2. タイル浮き部分は、アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法とする。

3. タイル割れ部分は、カッター入れの上、撤去・新設とする。

4. ひび割れ幅0. 2~1. 0mmは、自動式低圧樹脂注入工法とする。

5. コンクリート、モルタル欠損部分は、エポキシ樹脂モルタル充填工法とする。 6. 細制既設電気機、設備配管類は、清掃の b. DP涂 (2回涂り) とする

6. 鋼製既設電気盤、設備配管類は、清掃の上、DP塗(2回塗り)とする。 7. ステンレス設備ボックス、支持金物、換気フード等は、水洗いとする。

8.20 φ以上の樹脂製設備配管、樹脂製設備ボックス、支持金物、換気フード等は、清掃の上、DP塗(下塗り無し)とする。

9. 20 ¢ 以上の鋼製設備配管、鋼製設備ボックス、支持金物、換気フード等は、下地調整の上、DP塗(亜鉛めっき面程度)とする。

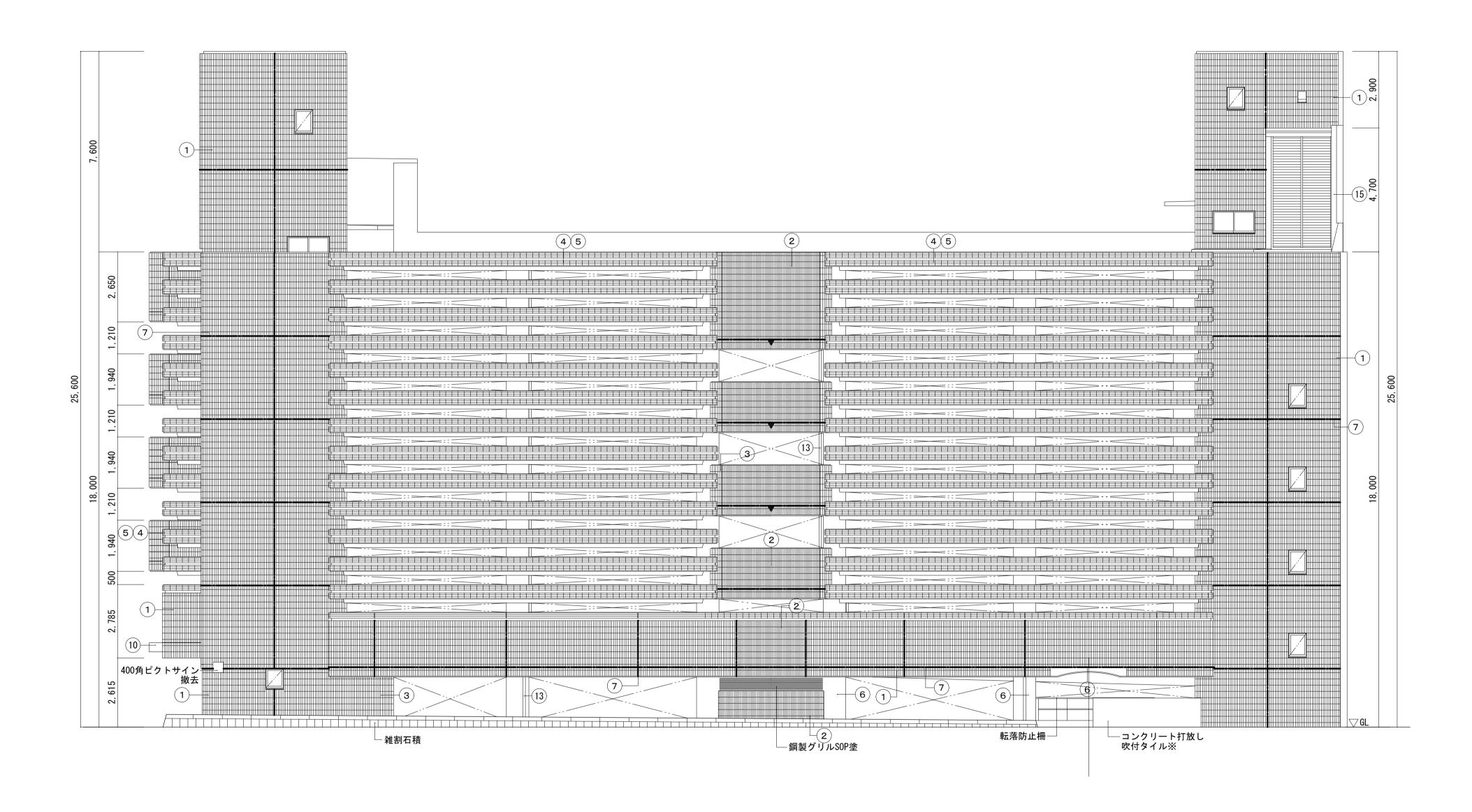
10. ステンレス、アルミ配管、監視カメラ等は、養生を行うこと。

11. 外壁を貫通している配管周囲、設備機器周囲は、全てシーリング(MS-2) 撤去・新設とする。

12. 設備機器裏面は、塗装出来る範囲まで施工すること。

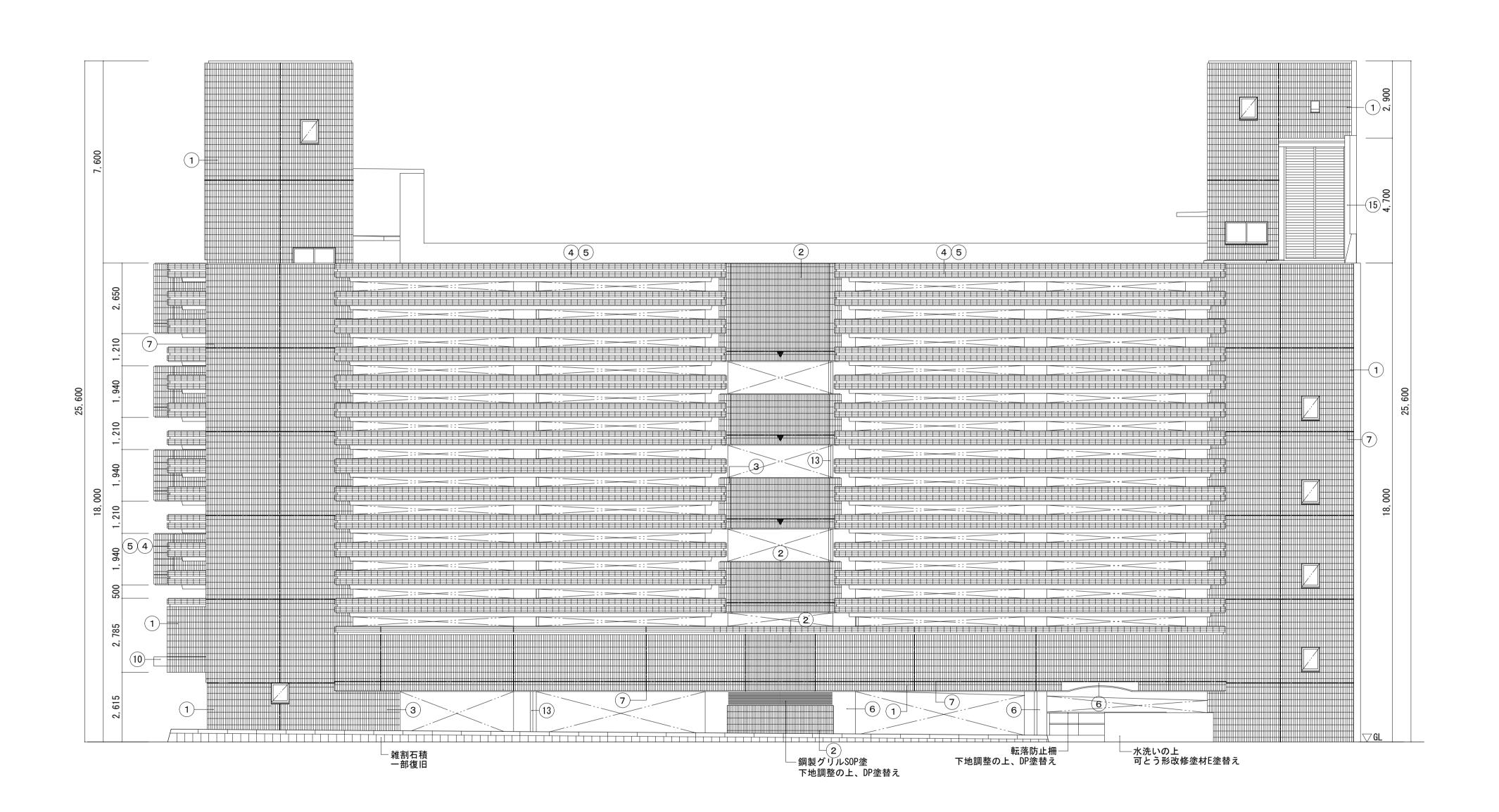
外部仕上表	
① 二丁掛タイル貼 a(リブ付)	9 飾り目地シーリングPS-2 20x10 撤去 、タイル役物 ▼ 進入口用三角マーク 撤去
② 二丁掛タイル貼 b (曲面)	(10) 庇 ステンレス製
3 二丁掛タイル貼 c (平板)	①1 サイン ステンレス製
4 二丁掛タイル貼 a・c模様	(12)   特殊型枠コンクリート打放し
5 PC版ルーバー:コンクリート打放し	①3 竪樋: VP75、VP125 継手以外撤去
6 合板型枠コンクリート打放し	14 化粧目地
7 伸縮目地シーリングPS-2 (特記外20 x 10)撤去	①5 ウレタン塗膜防水 (X-2)
8 手摺 鋼製 F P	①6 コンクリート打放し AP塗

※アスベスト含有建材



北 立面図

外部仕上表		
1 二丁掛タイル貼 a (リブ付) 水洗い	9	飾り目地シーリングPS-2 20x10 新設 、タイル役物 水洗い ▼ 進入口用三角マーク 新設
② 二丁掛タイル貼 b (曲面) 水洗い	10	庇 ステンレス製 水洗い
3 二丁掛タイル貼 c (平板) 水洗い		サイン ステンレス製 既設のまま
4 二丁掛タイル貼 a・c模様 水洗い	(12)	特殊型枠コンクリート打放し 水洗いの上、撥水剤塗替え
5 PC版ルーバー: コンクリート打放し 水洗いの上、撥水剤塗替え	13	竪樋:VP75、VP125 新設(掴み金物共) 継手部:清掃の上、DP塗替え(上塗り2回)
6 合板型枠コンクリート打放し 水洗いの上、撥水剤塗替え	14)	化粧目地 既設のまま
7 伸縮目地シーリングPS-2 (特記外20 x 10)新設	(15)	ウレタン塗膜防水 (X-2) 既設のまま
8 手摺 鋼製FP 下地調整の上、DP塗替え	(16)	水洗いの上、可とう形改修塗材E



北 立面図

1. 特記なき外壁仕上げは水洗いとする。

2. タイル浮き部分は、アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法とする。

3. タイル割れ部分は、カッタ一入れの上、撤去・新設とする。

4. ひび割れ幅0. 2~1. 0mmは、自動式低圧樹脂注入工法とする。

5. コンクリート、モルタル欠損部分は、エポキシ樹脂モルタル充填工法とする。 6. 細制既設電気般、設備配管類は、清掃のよ、DP涂(2回涂り、とする

6. 鋼製既設電気盤、設備配管類は、清掃の上、DP塗 (2回塗り) とする。

7. ステンレス設備ボックス、支持金物、換気フード等は、水洗いとする。 8. 20φ以上の樹脂製設備配管、樹脂製設備ボックス、支持金物、換気フード等は、清掃の上、DP塗(下塗り無し)とする。

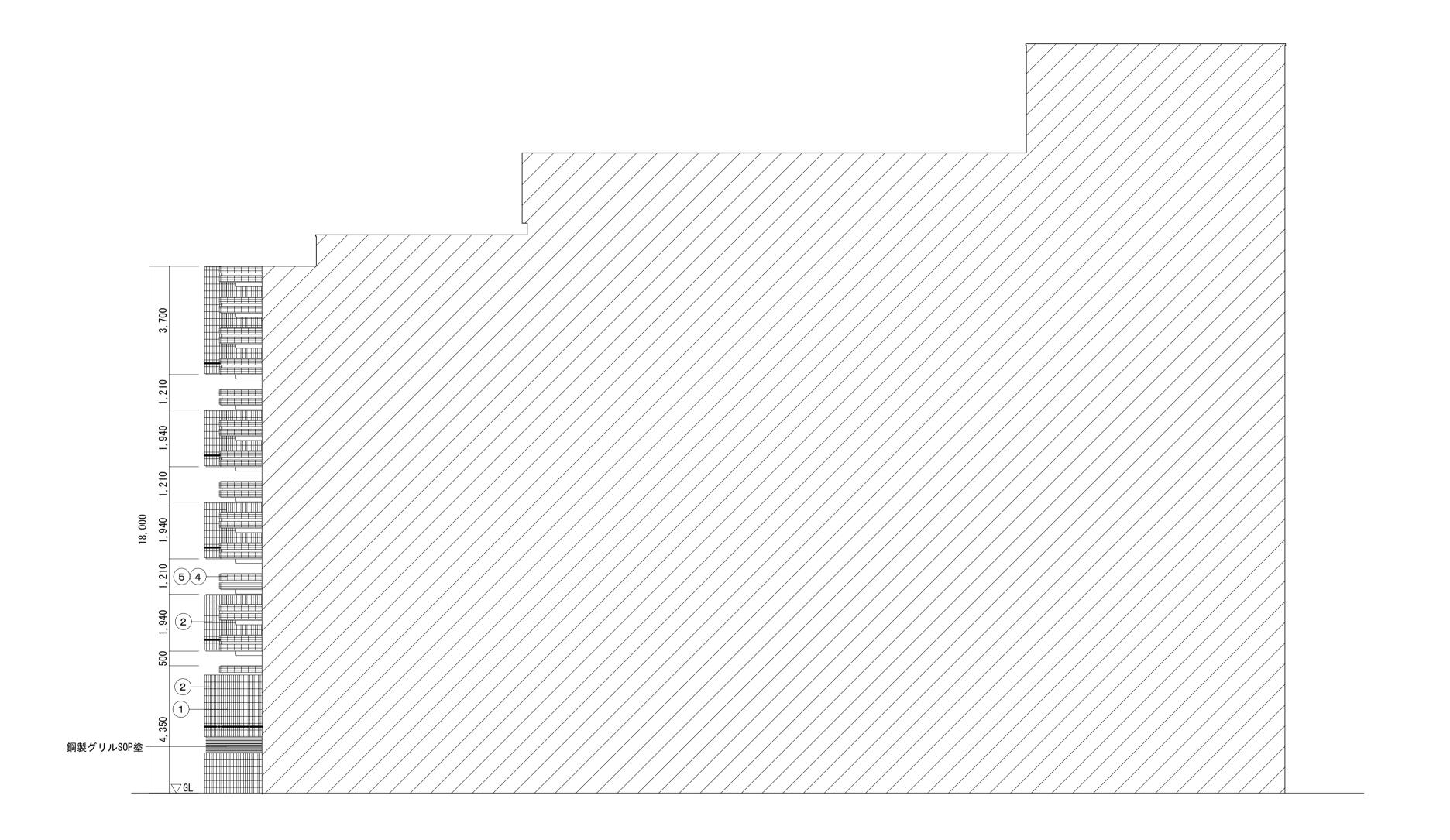
9. 20 ¢ 以上の鋼製設備配管、鋼製設備ボックス、支持金物、換気フード等は、下地調整の上、DP塗(亜鉛めっき面程度)とする。

10. ステンレス、アルミ配管、監視カメラ等は、養生を行うこと。

11. 外壁を貫通している配管周囲、設備機器周囲は、全てシーリング(MS-2)撤去・新設とする。

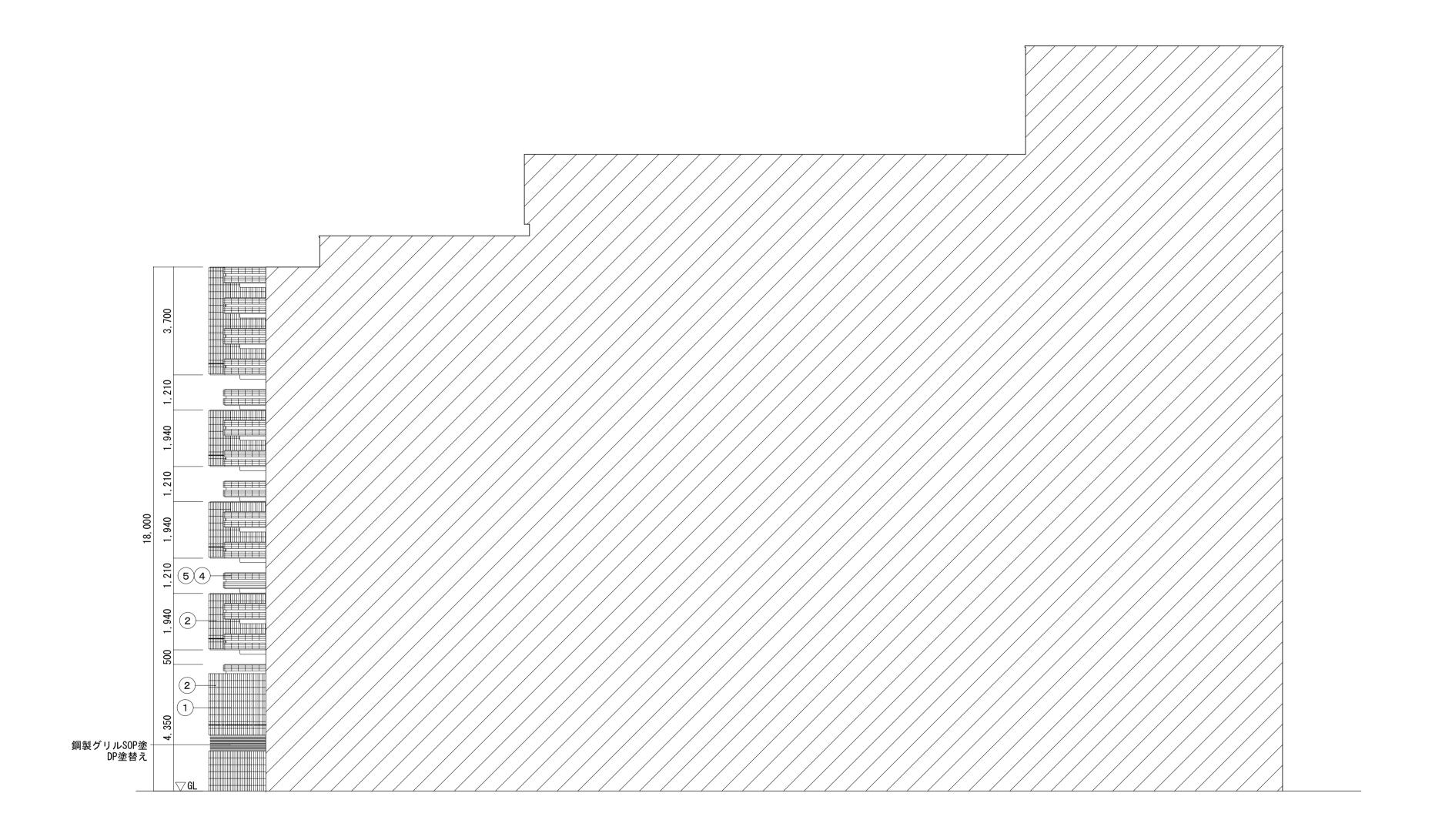
12. 設備機器裏面は、塗装出来る範囲まで施工すること。

外部仕上表			
① 二丁掛タイル貼 a(リブ付)	9	) 1	飾り目地シーリングPS-2 20x10 撤去 、タイル役物                              進入口用三角マーク 撤去
② 二丁掛タイル貼 b (曲面)	(10)	) I	庇 ステンレス製
3 二丁掛タイル貼 c (平板)	11	) -	サイン ステンレス製
④ 二丁掛タイル貼 a・c模様	(12)	2) 4	特殊型枠コンクリート打放し
5 P C 版ルーバー: コンクリート打放し	(13)	3) [	竪樋:VP75、VP125 継手以外撤去
6 合板型枠コンクリート打放し	(14)	1) 1	化粧目地
7 伸縮目地シーリングPS-2 (特記外20×10)撤去	(15)	5) '	ウレタン塗膜防水 (X-2)
8 手摺 鋼製FP	(16)	j) :	コンクリート打放し AP塗



西 立面図

外部仕上表	
1 二丁掛タイル貼 a(リブ付) 水洗い	9 飾り目地シーリングPS-2 20x10 新設 、タイル役物 水洗い ▼ 進入口用三角マーク 新設
② 二丁掛タイル貼 b (曲面)水洗い	(10) 庇 ステンレス製 水洗い
3 二丁掛タイル貼 c (平板) 水洗い	(1) サイン ステンレス製 既設のまま
4 二丁掛タイル貼 a・c模様 水洗い	12 特殊型枠コンクリート打放し 水洗いの上、撥水剤塗替え
5 P C 版ルーバー: コンクリート打放し 水洗いの上、撥水剤塗替え	①3 竪樋:VP75、VP125 新設(掴み金物共) 継手部:清掃の上、DP塗替え(上塗り2回)
6 合板型枠コンクリート打放し 水洗いの上、撥水剤塗替え	(14)         化粧目地 既設のまま
7 伸縮目地シーリングPS-2 (特記外20 x 10)新設	<ul><li>(15) ウレタン塗膜防水(X-2) 既設のまま</li></ul>
8 手摺 鋼製FP下地調整の上、DP塗替え	16 水洗いの上、可とう形改修塗材E



西 立面図

1. 特記なき外壁仕上げは水洗いとする。

2. タイル浮き部分は、アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法とする。

3. タイル割れ部分は、カッタ一入れの上、撤去・新設とする。

4. ひび割れ幅0. 2~1. 0mmは、自動式低圧樹脂注入工法とする。

5. コンクリート、モルタル欠損部分は、エポキシ樹脂モルタル充填工法とする。

6. 鋼製既設電気盤、設備配管類は、清掃の上、DP塗(2回塗り)とする。

7. ステンレス設備ボックス、支持金物、換気フード等は、水洗いとする。

8.20 $\phi$ 以上の樹脂製設備配管、樹脂製設備ボックス、支持金物、換気フード等は、清掃の上、DP塗(下塗り無し)とする。

9.  $20\,\phi$  以上の鋼製設備配管、鋼製設備ボックス、支持金物、換気フード等は、下地調整の上、DP塗(亜鉛めっき面程度)とする。

10. ステンレス、アルミ配管、監視カメラ等は、養生を行うこと。

11.外壁を貫通している配管周囲、設備機器周囲は、全てシーリング(MS-2)撤去・新設とする。

12. 設備機器裏面は、塗装出来る範囲まで施工すること。

縮尺 A1: 1:100 日付 訂正 承認 担当 備考 一級建築士登録 338601 藤川設計株式会社 市営中央駐車場 立面図(4)(改修後) A - 3 1市営中央駐車場及び市庁舎北館改修工事 ★ A3: 1:200 ★ 治田 聡